Pressio

新聞自動販売機

UFOシリーズ

取扱説明書

※取扱説明書は安全上のご注意・機能・操作・お手入れの方法等、本製品をご使用いただく際に必要となる情報を説明しています。
ご使用の前に必ずよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでもご覧になれるところに大切に保管して下さい。

取 扱 説 明

○ 販売機を設置する時は必ず、アンカーボルト等で本体を固定し（転倒防止）本体が移動しない様お願いします。

○ 使用電源は**AC100V**です。

○ 電源スイッチを入れる前にコインメックに釣銭をご用意して下さい。
釣銭の硬貨枚数は下記の通りです。

硬貨種類	枚数
10円	16枚以上
50円	16枚以上
100円	16枚以上
500円	1枚以上

コインメック・釣銭収納枚数及び釣銭補給方式		
釣銭チューブ	収納枚数	補給方式
10円貨チューブ	約90枚	自動・手動補給兼用
50円貨チューブ	約78枚	
100円貨チューブ	約77枚	
500円貨チューブ	約68枚	
※500円硬貨収納枚数切替有り約68枚、約8枚、0枚		

○ 電源スイッチを入れる。（漏電ブレーカ）

○ 蛍光灯スイッチを入れる。（蛍光灯は自動点灯です。明るい時は・・・消灯　暗い時は・・・点灯）

○ CPUスイッチを入れる。
（本体前面に日付表示・格段押釦スイッチ売切表示）

○ **各設定方法・・・・・**設定方法は**項目No.**により設定します。（**操作部操作方法による**）

a） 各段新聞価格設定・・・**朝刊「項目No.61」**（コラム1）～**「No.70」**（コラム10）
各段新聞価格設定・・・**夕刊「項目No.71」**（コラム1）～**「No.80」**（コラム10）
※各コラムは上段からコラム1・コラム2・コラム3・・・・・コラム10
※朝刊販売、夕刊販売の切替は扉裏面の操作部スイッチで行います。
※価格設定時**￥0**.は新聞がセットされても**売切れ**になります。

b） 時計確認表示・・・**「項目No.83」**（日付・時刻が表示します）表示が違う時は次の項目で設定して下さい。

c） 日付設定・・・**「項目No.81」**

d） 時間設定・・・**「項目No.82」**

e） 販売停止開始時刻設定・・・**「項目No.87」**
※（設定時間以降に全コラム売り切れ表示し販売停止します。新聞交換時に停止解除し販売出来ます）
※販売停止時刻の設定で、24：00：00は認識しませんので、**00：00：00（午前0時）**と設定して下さい。
※設定の有効・無効切替スイッチが有ります。（扉裏面）

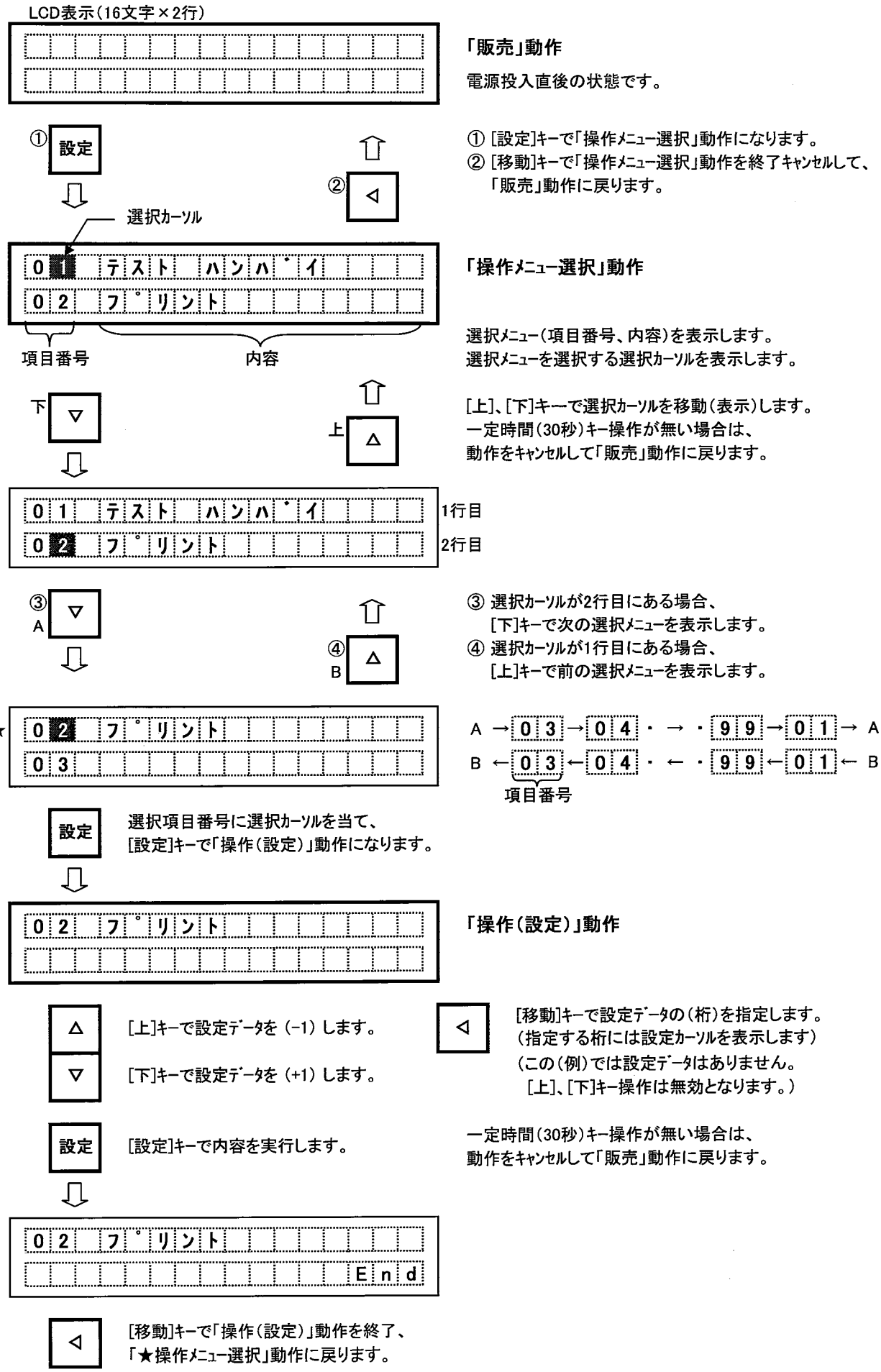
f） 新聞のセット・・・**折り目を奥側にして左右均一になる様にセットして下さい。**

g） 販売テスト・・・**「項目No.01」**で各段新聞の状況確認が出来ます。

新聞自動販売機

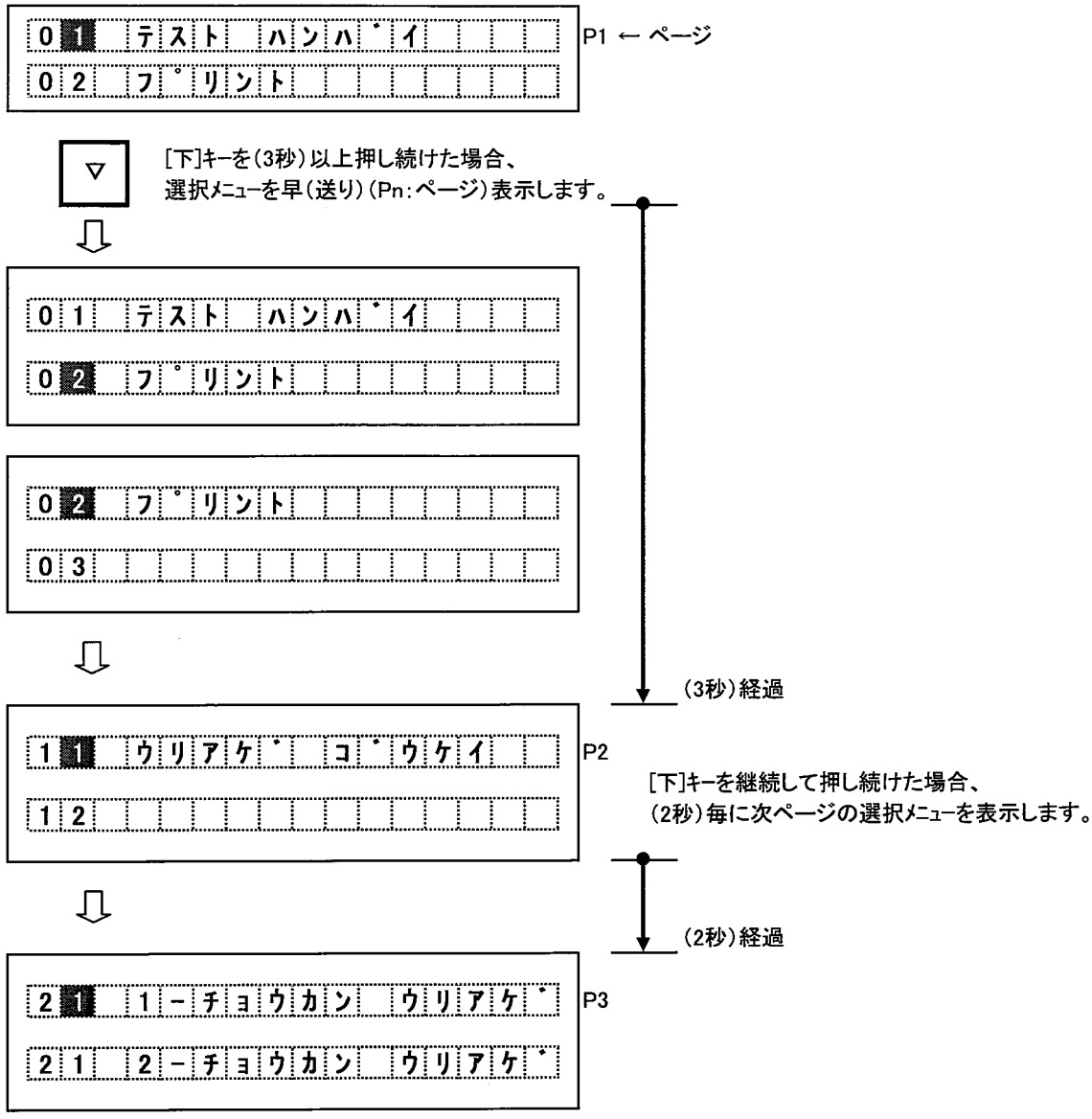
操作部　操作方法

操作部の基本操作方法


LCD表示(16文字×2行)
「販売」動作
電源投入直後の状態です。
① 設定
② ◁
① [設定]ｷｰで「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作になります。
② [移動]ｷｰで「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作を終了ｷｬﾝｾﾙして、
「販売」動作に戻ります。
選択ｶｰｿﾙ
0 1 ﾃｽﾄ ﾊﾝﾊﾞｲ
0 2 ﾌﾟﾘﾝﾄ
「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作
項目番号
内容
選択ﾒﾆｭｰ(項目番号、内容)を表示します。
選択ﾒﾆｭｰを選択する選択ｶｰｿﾙを表示します。
下 ▽
上 △
[上]、[下]ｷｰで選択ｶｰｿﾙを移動(表示)します。
一定時間(30秒)ｷｰ操作が無い場合は、
動作をｷｬﾝｾﾙして「販売」動作に戻ります。
0 1 ﾃｽﾄ ﾊﾝﾊﾞｲ
0 2 ﾌﾟﾘﾝﾄ
1行目
2行目
③ A ▽
④ B △
③ 選択ｶｰｿﾙが2行目にある場合、
[下]ｷｰで次の選択ﾒﾆｭｰを表示します。
④ 選択ｶｰｿﾙが1行目にある場合、
[上]ｷｰで前の選択ﾒﾆｭｰを表示します。
★
0 2 ﾌﾟﾘﾝﾄ
0 3
A → 0 3 → 0 4 ・ → ・ 9 9 → 0 1 → A
B ← 0 3 ← 0 4 ・ ← ・ 9 9 ← 0 1 ← B
項目番号
設定
選択項目番号に選択ｶｰｿﾙを当て、
[設定]ｷｰで「操作(設定)」動作になります。
0 2 ﾌﾟﾘﾝﾄ
「操作(設定)」動作
△
▽
[上]ｷｰで設定ﾃﾞｰﾀを (-1) します。
[下]ｷｰで設定ﾃﾞｰﾀを (+1) します。
◁
[移動]ｷｰで設定ﾃﾞｰﾀの(桁)を指定します。
(指定する桁には設定ｶｰｿﾙを表示します)
(この(例)では設定ﾃﾞｰﾀはありません。
[上]、[下]ｷｰ操作は無効となります。)
設定
[設定]ｷｰで内容を実行します。
一定時間(30秒)ｷｰ操作が無い場合は、
動作をｷｬﾝｾﾙして「販売」動作に戻ります。
0 2 ﾌﾟﾘﾝﾄ
E n d
◁
[移動]ｷｰで「操作(設定)」動作を終了、
「★操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

操作部の操作方法 （拡張機能）

「操作ﾒﾆｭｰ選択」の早(送り/戻し)



(注)ページ対応は項目番号(内容)一覧を参照

A → P1 → P2 → ・ ・ → P10 → A

△ [上]ｷｰで早(戻し)(Pn:ページ)表示します。

A ← P1 ← P2 ← ・ ・ ← P10 ← A

操作部　　項目番号(内容)一覧

ﾍﾟｰｼﾞ	項目	内容	ﾍﾟｰｼﾞ	項目	内容
P1	01	テスト販売	P6	51	コラム1　夕刊　販売数表示
	02	管理情報印刷		52	コラム2　↑
	03			53	コラム3　↑
	04			54	コラム4　↑
	05			55	コラム5　↑
	06			56	コラム6　↑
	07			57	コラム7　↑
	08			58	コラム8　↑
	09			59	コラム9　↑
	10			60	コラム10　↑
P2	11	総売上金額表示	P7	61	コラム1　朝刊　販売価格設定
	12			62	コラム2　↑
	13			63	コラム3　↑
	14			64	コラム4　↑
	15			65	コラム5　↑
	16			66	コラム6　↑
	17			67	コラム7　↑
	18			68	コラム8　↑
	19			69	コラム9　↑
	20			70	コラム10　↑
P3	21	コラム1　朝刊　売上金額表示	P8	71	コラム1　夕刊　販売価格設定
	22	コラム2　↑		72	コラム2　↑
	23	コラム3　↑		73	コラム3　↑
	24	コラム4　↑		74	コラム4　↑
	25	コラム5　↑		75	コラム5　↑
	26	コラム6　↑		76	コラム6　↑
	27	コラム7　↑		77	コラム7　↑
	28	コラム8　↑		78	コラム8　↑
	29	コラム9　↑		79	コラム9　↑
	30	コラム10　↑		80	コラム10　↑
P4	31	コラム1　夕刊　売上金額表示	P9	81	時計(日付)設定
	32	コラム2　↑		82	時計(時刻)設定
	33	コラム3　↑		83	時計確認表示
	34	コラム4　↑		84	ビルバリ設定
	35	コラム5　↑		85	使用コラム数設定
	36	コラム6　↑		86	プリンタ設定
	37	コラム7　↑		87	販売停止時刻設定
	38	コラム8　↑		88	自動返金時間設定
	39	コラム9　↑		89	
	40	コラム10　↑		90	工場出荷設定
P5	41	コラム1　朝刊　販売数表示	P10	91	コインメック異常表示
	42	コラム2　↑		92	ビルバリ異常表示
	43	コラム3　↑		93	コラム異常表示
	44	コラム4　↑		94	
	45	コラム5　↑		95	
	46	コラム6　↑		96	
	47	コラム7　↑		97	
	48	コラム8　↑		98	
	49	コラム9　↑		99	売上金額、販売数クリア
	50	コラム10　↑		**	

01

テスト販売

01 テスト ハンハ゛イ
ハンハ゛イ チュウ...

1) 全ｺﾗﾑの販売ﾗﾝﾌﾟが点灯、お金を入れることなく「販売」動作が可能となります。
但し、商品がないｺﾗﾑは「売切」状態のまま「販売」動作は行えません。

2) 操作

◁ 操作をｷｬﾝｾﾙして、「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

△
▽
設定

操作は無効です。

02

管理情報印刷

02 ﾌﾟﾘﾝﾄ

1) 管理情報を印刷します。
本操作は項目「86 ﾌﾟﾘﾝﾀ(ON)」で有効です。（無効な場合は印刷を行いません）
また、項目「85 使用ｺﾗﾑ数」で設定したｺﾗﾑ数のみ印刷を行います。

2) 操作

◁ 操作をｷｬﾝｾﾙして、「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

△ ▽ 操作は無効です。

設定 管理情報を印刷します。（次頁に印刷書式）

02 ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｲﾝｻﾂ ﾁｭｳ...

動作中

02 ﾌﾟﾘﾝﾄ
End

動作完了

「86 ﾌﾟﾘﾝﾀ(OFF)」の場合 （操作は無効で印刷は行いません）

02 ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｵﾌﾟｼｮﾝ End

印刷書式

```
▽(改行)
▽
▽
０５／１２／３１　　２３：５９：５９
▽
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
　　ウリアケ゛　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　￥１，０００，０００
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
▽
コラム１
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
　　チョウカン　ハンハ゛イ　カカク　　￥１，０００，０００
　　チョウカン　ハンハ゛イ　スウ　　　　１，０００，０００
　　チョウカン　ウリアケ゛　　　　　　￥１，０００，０００
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
　　ユウカン　　ハンハ゛イ　カカク　　￥１，０００，０００
　　ユウカン　　ハンハ゛イ　スウ　　　　１，０００，０００
　　ユウカン　　ウリアケ゛　　　　　　￥１，０００，０００
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
　　・
　　・
　　・
▽
コラム１０
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
　　チョウカン　ハンハ゛イ　カカク　　￥１，０００，０００
　　チョウカン　ハンハ゛イ　スウ　　　　１，０００，０００
　　チョウカン　ウリアケ゛　　　　　　￥１，０００，０００
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
　　ユウカン　　ハンハ゛イ　カカク　　￥１，０００，０００
　　ユウカン　　ハンハ゛イ　スウ　　　　１，０００，０００
　　ユウカン　　ウリアケ゛　　　　　　￥１，０００，０００
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
▽
▽
▽
```

使用ｺﾗﾑ数のみ印刷します

11

総売上表示

11 ｳﾘｱｹﾞ
¥1,000,000

1) 総売上金額を表示します。
（最大¥9,999,999まで表示が可能です）

2) 操作

◁ 操作をｷｬﾝｾﾙして、「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

△
▽
設定

操作は無効です。

21～30

朝刊 売上金額表示 （コラム別）

21 C1 チョウカン ウリ
¥1,000,000

1) 朝刊の売上金額をｺﾗﾑ別(C1～C10)に表示します。
（最大¥9,999,999まで表示が可能です）

2) 操作

◁ 操作をｷｬﾝｾﾙして、「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

△
▽
設定

操作は無効です。

夕刊 売上金額表示 （コラム別）

３１ C１ ユウカン ウリ
¥１，０００，０００

1) 夕刊の売上金額をｺﾗﾑ別（C1～C10）に表示します。
（最大¥9,999,999まで表示が可能です）

2) 操作

◁ 操作をｷｬﾝｾﾙして、「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

△
▽
設定

操作は無効です。

41～50

朝刊 販売数表示 （コラム別）

41 C1 チョウカン スウ
1,000,000

1) 朝刊の販売数をｺﾗﾑ別(C1～C10)に表示します。
（最大9,999,999まで表示が可能です）

2) 操作

◁ 操作をｷｬﾝｾﾙして、
「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

△
▽
設定

操作は無効です。

５１～６０

夕刊 販売数表示 （コラム別）

５１ C１ ユウカン スウ
１，０００，０００

1） 夕刊の販売数をｺﾗﾑ別（C1～C10）に表示します。
（最大999,999まで表示が可能です）

2） 操作

◁ 操作をｷｬﾝｾﾙして、
「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

△
▽
設定

操作は無効です。

61～70 (12 / n)

朝刊 販売価格設定 (コラム別)

61 C1 チョウカン カカク
¥1,000,000

1) 朝刊の販売価格をｺﾗﾑ別(C1～C10)に設定します。
本操作で設定済みのｺﾗﾑのみ「販売」動作が可能となります。
(最大¥9,999,990まで設定が可能です)

2) 操作

◁	操作をｷｬﾝｾﾙして、 「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。
△	表示金額を(+10円)します。
▽	表示金額を(-10円)します。
設定	表示金額を販売価格として確定(設定)します。 確定(設定)はEEPROMに記憶します。

71～80

夕刊 販売価格設定 (コラム別)

71 C1 ユウカン カカク
¥1,000,000

1) 夕刊の販売価格をｺﾗﾑ別(C1～C10)に設定します。
本操作で設定済みのｺﾗﾑのみ「販売」動作が可能となります。
(最大¥9,999,990まで設定が可能です)

2) 操作

◁	操作をｷｬﾝｾﾙして、 「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。
△	表示金額を(+10円)します。
▽	表示金額を(-10円)します。
設定	表示金額を販売価格として確定(設定)します。 確定(設定)はEEPROMに記憶します。

8 1

時計(日付)設定

8 1	ト ケ イ (Y Y / M M / D D)
	0 5 / 1 2 / 3 1

0 設定ｶｰｿﾙ(点滅表示)

1) 時計(日付)を設定します。
(うるう年に関して1901年から2099年まで自動的に判別します)

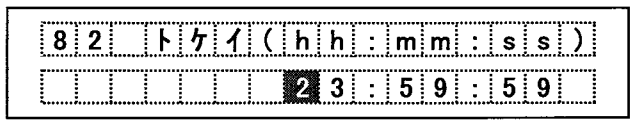
Y Y	年
M M	月
D D	日

2) 操作

◁	設定ｶｰｿﾙを移動(左→右)表示します。
△	設定ｶｰｿﾙが当たっているﾃﾞｰﾀを (+1) します。
▽	設定ｶｰｿﾙが当たっているﾃﾞｰﾀを (-1) します。
設定	表示している日付を確定します。 自動的に時計合わせを行います。

82

時計(時刻)設定



2 設定ｶｰｿﾙ(点滅表示)

1) 時計(時刻)を設定します。

hh	時
mm	分
ss	秒

2) 操作

◁	設定ｶｰｿﾙを移動(左→右)表示します。
△	設定ｶｰｿﾙが当たっているﾃﾞｰﾀを (+1) します。
▽	設定ｶｰｿﾙが当たっているﾃﾞｰﾀを (-1) します。
設定	表示している時刻を確定します。 自動的に時計合わせを行います。

83

時計確認表示

83 トケイ カクニン
05/12/31 23:59

1) 現在の時計(年月日及び時分)を表示します。

2) 操作

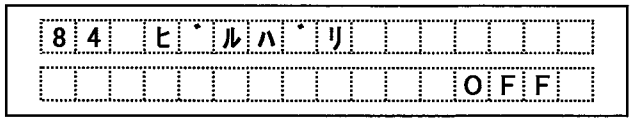
◁ 操作をｷｬﾝｾﾙして、
「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

△
▽
設定

操作は無効です。

8 4

ビルバリ設定



1) ﾋﾞﾙﾊﾞﾘを使用(する:ON/しない:OFF)を設定します。

2) 操作

◁ 操作をキャンセルして、
「操作メニュー選択」動作に戻ります。

△ ▽ 設定(変更)

OFF → ON
ON → OFF

設定 設定(ON/OFF)を確定します。
設定はEEPROMに記憶します。

8 5

使用コラム数設定

8	5		コ	ラ	ム		ス	ウ						
													3	

1) 使用するコラム数を設定します。

2) 操作

◁	操作をキャンセルして、 「操作メニュー選択」動作に戻ります。
△	表示データを下記のように更新します。 A → 3 → 4 → 5 → 10 → A
▽	表示データを下記のように更新します。 A ← 3 ← 4 ← 5 ← 10 ← A
設定	表示しているコラム数を確定(設定)します。 確定(設定)はEEPROMに記憶します。

8 6

プリンタ設定

8 6	ﾌﾟﾘﾝﾀ							
						O F F		

1) ｵﾌﾟｼｮﾝで「ﾌﾟﾘﾝﾀ」を接続して管理情報の印刷が可能です。
「ﾌﾟﾘﾝﾀ」を接続して印刷(する:ON/しない:OFF)を設定します。

2) 操作

◁ 操作をｷｬﾝｾﾙして、
「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

△ ▽ 設定(変更)

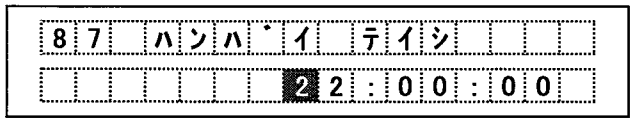
OFF → ON
ON → OFF

設定 設定(ON/OFF)を確定します。
設定はEEPROMに記憶します。

8 7

(20 / n)

販売停止開始時刻設定



2 設定ｶｰｿﾙ(点滅表示)

1) 販売停止開始時刻を設定します。
本設定は操作SW「販売停止」(有効)により動作します。

2) 操作

◁ 設定ｶｰｿﾙを移動(左→右)表示します。

△ 設定ｶｰｿﾙが当たっているﾃﾞｰﾀを (+1) します。

▽ 設定ｶｰｿﾙが当たっているﾃﾞｰﾀを (-1) します。

設定 表示している時刻を確定(設定)します。
確定(設定)はEEPROMに記憶します。

88

自動返金時間設定

88 シ゛ト゛ウ ヘンキン	
120 s	

1) 自動返金時間を設定します。
(0～120秒まで5秒単位で設定可能です)

2) 操作

◁	操作をｷｬﾝｾﾙして、 「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。
△	表示ﾃﾞｰﾀを (+5) します。
▽	表示ﾃﾞｰﾀを (-5) します。
設定	表示している時間を確定(設定)します。 確定(設定)はEEPROMに記憶します。

90

工場出荷設定

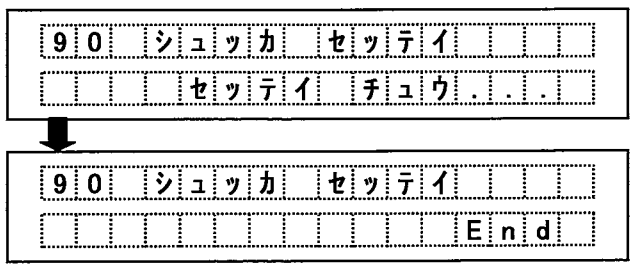
1) 工場出荷設定値を設定します。（設定値はEEPROMに記憶します）

2) 操作

◁ 操作をｷｬﾝｾﾙして、
「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

△
▽ 操作は無効です。

設定 工場出荷設定値を設定します。



動作中

動作完了

3) 工場出荷設定値

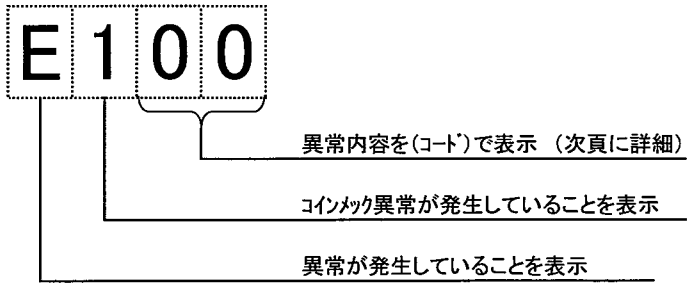
a) 総売上金額	¥0
b) 朝刊 売上金額（ｺﾗﾑ毎）	¥0
c) 夕刊 売上金額（ｺﾗﾑ毎）	¥0
d) 朝刊 販売数（ｺﾗﾑ毎）	0
e) 夕刊 販売数（ｺﾗﾑ毎）	0
f) 朝刊 販売価格（ｺﾗﾑ毎）	¥0
g) 夕刊 販売価格（ｺﾗﾑ毎）	¥0
h) 販売停止時刻	22:00:00
k) 自動返金時間	30秒
l) ﾋﾞﾙﾊﾞﾘ設定	OFF（使用しない）
m) 使用ｺﾗﾑ数	3
n) ﾌﾟﾘﾝﾀ	OFF（無し）

91

コインメック異常表示

```
91 コインメック エラー
   エラー(E100)
```

1) ｺｲﾝﾒｯｸ異常の内容(ｺｰﾄﾞ)を表示します。



2) 操作

◁ 操作をｷｬﾝｾﾙして、「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

△ ▽ 設定 操作は無効です。

異常発生時の流れ

a) 異常発生時は本画面に強制的に切替り表示します。
b) 全コラムを(売切)として以降の「販売」を不可とします。
c) 異常は電源リセットで解除(復帰)します。

コインメック異常内容(ｺｰﾄﾞ)一覧表

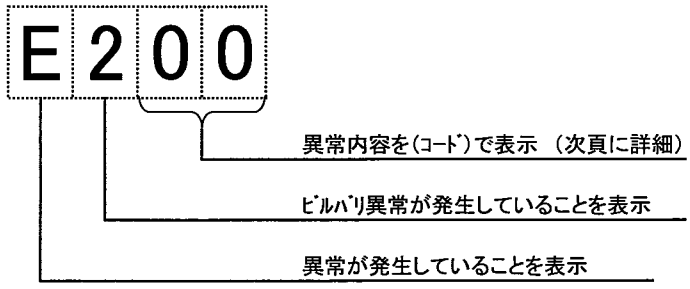
異常ｺｰﾄﾞ	異常内容
E 1 0 0	異常なし
E 1 0 1	01h: ｽﾀﾝﾊﾞｲ ACKなし
E 1 0 2	02h: ｽﾀﾝﾊﾞｲ 想定外ACK受信
E 1 0 3	03h: ｽﾀﾝﾊﾞｲ NAK受信
E 1 0 4	04h: 一括要求 ACKなし
E 1 0 5	05h: 一括要求 想定外ACK受信
E 1 0 6	06h: 一括要求 NAK受信
E 1 0 7	07h: 出力要求(ｺﾏﾝﾄﾞ送信) ACKなし
E 1 0 8	08h: 出力要求(ｺﾏﾝﾄﾞ送信) 想定外ACK受信
E 1 0 9	09h: 出力要求(ｺﾏﾝﾄﾞ送信) NAK受信
E 1 0 A	0Ah: 出力要求(ﾃﾞｰﾀｺﾏﾝﾄﾞ送信) ACKなし
E 1 0 b	0Bh: 出力要求(ﾃﾞｰﾀｺﾏﾝﾄﾞ送信) 想定外ACK受信
E 1 0 C	0Ch: 出力要求(ﾃﾞｰﾀｺﾏﾝﾄﾞ送信) NAK受信
E 1 0 d	0Dh: 入力要求 ACKなし
E 1 0 E	0Eh: 入力要求 想定外ACK受信
E 1 0 F	0Fh: 入力要求 NAK受信
E 1 8 0	80h: ｺｲﾝﾒｯｸ異常 ｱｸｾﾌﾟﾀ異常
E 1 8 1	81h: 10円ｴﾝﾌﾟﾃｨｽｲｯﾁ異常
E 1 8 2	82h: 50円ｴﾝﾌﾟﾃｨｽｲｯﾁ異常
E 1 8 3	83h: 100円ｴﾝﾌﾟﾃｨｽｲｯﾁ異常
E 1 8 4	84h: 500円ｴﾝﾌﾟﾃｨｽｲｯﾁ異常
E 1 8 5	85h: 返金ｽｲｯﾁ異常
E 1 8 6	86h: 硬貨払出し異常
E 1 8 7	87h: ｾｰﾌﾃｨｽｲｯﾁ異常
E 1 8 8	88h: 10円ﾌﾙｾﾝｻ異常
E 1 8 9	89h: 50円ﾌﾙｾﾝｻ異常
E 1 8 A	8Ah: 100円ﾌﾙｾﾝｻ異常
E 1 8 b	8Bh: 500円ﾌﾙｾﾝｻ異常
E 1 8 C	8Ch: 代表異常
E 1 8 d	8Dh: 動作可(異常だが動作可能時)
E 1 8 E	8Eh: CP3異常
E 1 9 0	90h: 投入金ｸﾘｱ未完
E 1 9 1	91h: 釣銭払出し不可
E 1 9 2	92h: 払出し未完
E 1 F E	FEh: FCC異常
E 1 F F	FFh: ﾃﾞﾊﾞｲｽ異常
E 1 F 0	F0: 通信異常 D0: ｵｰﾊﾞｰﾗﾝｴﾗｰ
E 1 F 1	F1: 通信異常 D1: ﾌﾚｰﾐﾝｸﾞｴﾗｰ
E 1 F 2	F2: 通信異常 D2: ﾊﾟﾘﾃｨｴﾗｰ
E 1 F 3	F3: 通信異常 D3: ｴﾗｰｻﾑﾌﾗｸﾞ

92

ビルバリ異常表示

92 ﾋﾞﾙﾊﾞﾘ ｴﾗｰ
ｴﾗｰ(E200)

1) ﾋﾞﾙﾊﾞﾘ異常の内容(ｺｰﾄﾞ)を表示します。



2) 操作

◁ 操作をｷｬﾝｾﾙして、「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

△ ▽ 設定 操作は無効です。

異常発生時の流れ

a) 異常発生時は本画面に強制的に切替り表示します。
b) 全コラムを(売切)として以降の「販売」を不可とします。
c) 異常は電源リセットで解除(復帰)します。

ビルバリ異常内容(ｺｰﾄﾞ)一覧表

異常ｺｰﾄﾞ	異常内容
E 2 0 0	異常なし
E 2 0 1	01h: ｽﾀﾝﾊﾞｲ ACKなし
E 2 0 2	02h: ｽﾀﾝﾊﾞｲ 想定外ACK受信
E 2 0 3	03h: ｽﾀﾝﾊﾞｲ NAK受信
E 2 0 4	04h: 一括要求 ACKなし
E 2 0 5	05h: 一括要求 想定外ACK受信
E 2 0 6	06h: 一括要求 NAK受信
E 2 0 7	07h: 出力要求(ｺﾏﾝﾄﾞ送信) ACKなし
E 2 0 8	08h: 出力要求(ｺﾏﾝﾄﾞ送信) 想定外ACK受信
E 2 0 9	09h: 出力要求(ｺﾏﾝﾄﾞ送信) NAK受信
E 2 0 A	0Ah: 出力要求(ﾃﾞｰﾀｺﾏﾝﾄﾞ送信) ACKなし
E 2 0 b	0Bh: 出力要求(ﾃﾞｰﾀｺﾏﾝﾄﾞ送信) 想定外ACK受信
E 2 0 C	0Ch: 出力要求(ﾃﾞｰﾀｺﾏﾝﾄﾞ送信) NAK受信
E 2 0 d	0Dh: 入力要求 ACKなし
E 2 0 E	0Eh: 入力要求 想定外ACK受信
E 2 0 F	0Fh: 入力要求 NAK受信
E 2 8 0	80h: ﾋﾞﾙﾊﾞﾘ異常 識別部異常
E 2 8 1	81h: ｽﾀｯｶ異常
E 2 8 2	82h: 札詰まり
E 2 8 3	83h: 紙幣払出し異常
E 2 8 4	84h: 紙幣金庫満杯異常
E 2 8 C	8Ch: 代表異常
E 2 8 d	8Dh: 動作可(異常だが動作可能時)
E 2 9 0	90h: 投入金ｸﾘｱ未完
E 2 9 1	91h:
E 2 9 2	92h:
E 2 F E	FEh: FCC異常
E 2 F F	FFh: ﾃﾞﾊﾞｲｽ異常
E 2 F 0	F0: 通信異常 D0: ｵｰﾊﾞｰﾗﾝｴﾗｰ
E 2 F 1	F1: 通信異常 D1: ﾌﾚｰﾐﾝｸﾞｴﾗｰ
E 2 F 2	F2: 通信異常 D2: ﾊﾟﾘﾃｨｴﾗｰ
E 2 F 3	F3: 通信異常 D3: ｴﾗｰｻﾑﾌﾗｸﾞ

93

コラム異常表示

93 ｺﾗﾑ ｴﾗｰ
E300(1234567890)

1) ｺﾗﾑ異常の内容(ｺｰﾄﾞ)を表示します。

E300(1234567890)

- 異常が発生したコラム番号を表示 (0 = 10)
- 異常内容を(ｺｰﾄﾞ)で表示 (次頁に詳細)
- ｺﾗﾑ異常が発生していることを表示
- 異常が発生していることを表示

2) 操作

◁	操作をｷｬﾝｾﾙして、「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。
△	操作は無効です。
▽	
設定	

異常発生時の流れ

a) 投入金額は自動的に返金します。
b) 本画面に強制的に切替り表示します。
c) 異常が発生したコラムのみ(売切)として以降の「販売」を不可とします。
(その他のコラムは通常販売が可能です)
d) 異常は電源リセットで解除(復帰)します。

コラム異常内容(ｺｰﾄﾞ)一覧表　[n:コラム番号]

異常ｺｰﾄﾞ	異常内容
E 3 3 0	異常なし
E 3 0 0	D0: モータ電源供給異常
E 3 1 0	D1: 自走LS(ON)異常　(動作指令で原点を離脱しない場合)
E 3 2 0	D2: 自走LS(OFF)異常　(動作時限以内に原点復帰しない場合)

99

売上金額、販売数クリア

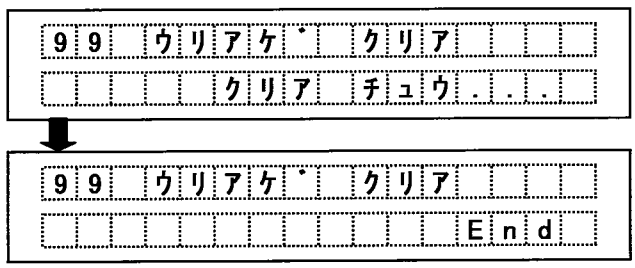
1) 売上金額及び販売数をクリアします。
- 総売上金額
- 朝刊・売上金額(ｺﾗﾑ毎)
- 夕刊・売上金額(ｺﾗﾑ毎)
- 朝刊・販売数(ｺﾗﾑ毎)
- 夕刊・販売数(ｺﾗﾑ毎)

2) 操作

◁ 操作をｷｬﾝｾﾙして、「操作ﾒﾆｭｰ選択」動作に戻ります。

△ ▽ 操作は無効です。

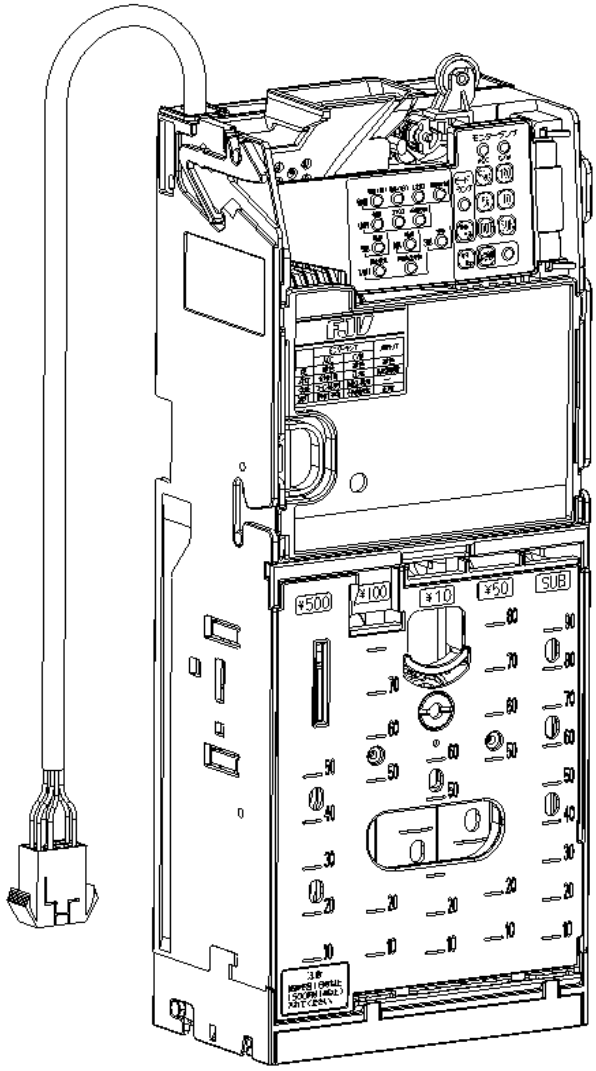
設定 売上金額及び販売数をクリアします。



技術マニュアル

富士電機コインメカニズム

ＦＪＶＴ４５１



富士電機リテイルシステムズ株式会社

MB01－011a

製造国　日本

はじめに

はじめに

このたびは弊社コインメカニズムをお買い上げいただきありがとうございます。
お求めのコインメカニズムを正しく使っていただくために，ご使用前に本書をよくお読みください。コインメカニズムの正しい商品知識と取扱いにより末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。
なお本書は，お読みになったあと大切に保管してください。

特長

★ 500円貨，100円貨の現物エスクロ機能
500円貨最大３枚，100円貨最大４枚まで，投入貨を保留します。
500円貨，100円貨をエスクロ中でも他金種の受入れが可能です。

★ つり銭管理機能
つり銭の回収及び補給が正確かつ短時間におこなえ，オペレート作業の向上に貢献します。

★ すぐれた検銭性能
検銭精度をさらに向上し，外貨・変造貨を排除します。

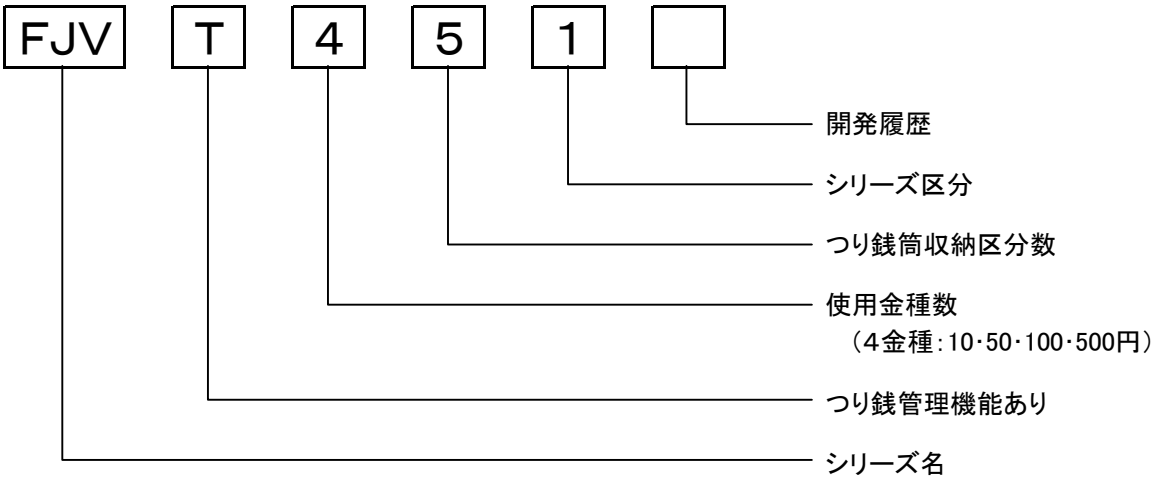
★ ダイレクト収金機能を採用
500円，100円チューブのつり銭収納枚数の切替えが可能で，その他さまざまな用途に活用できます。

★ カセットチューブセットスイッチの採用
セットミスによるトラブルを防止します。

★ 親切設計でメンテナンス性を重視
分解・組立・清掃性を容易にしました。

★ モニター機能の充実
各機能の設定状態を一目で確認できます。

型式の読み方

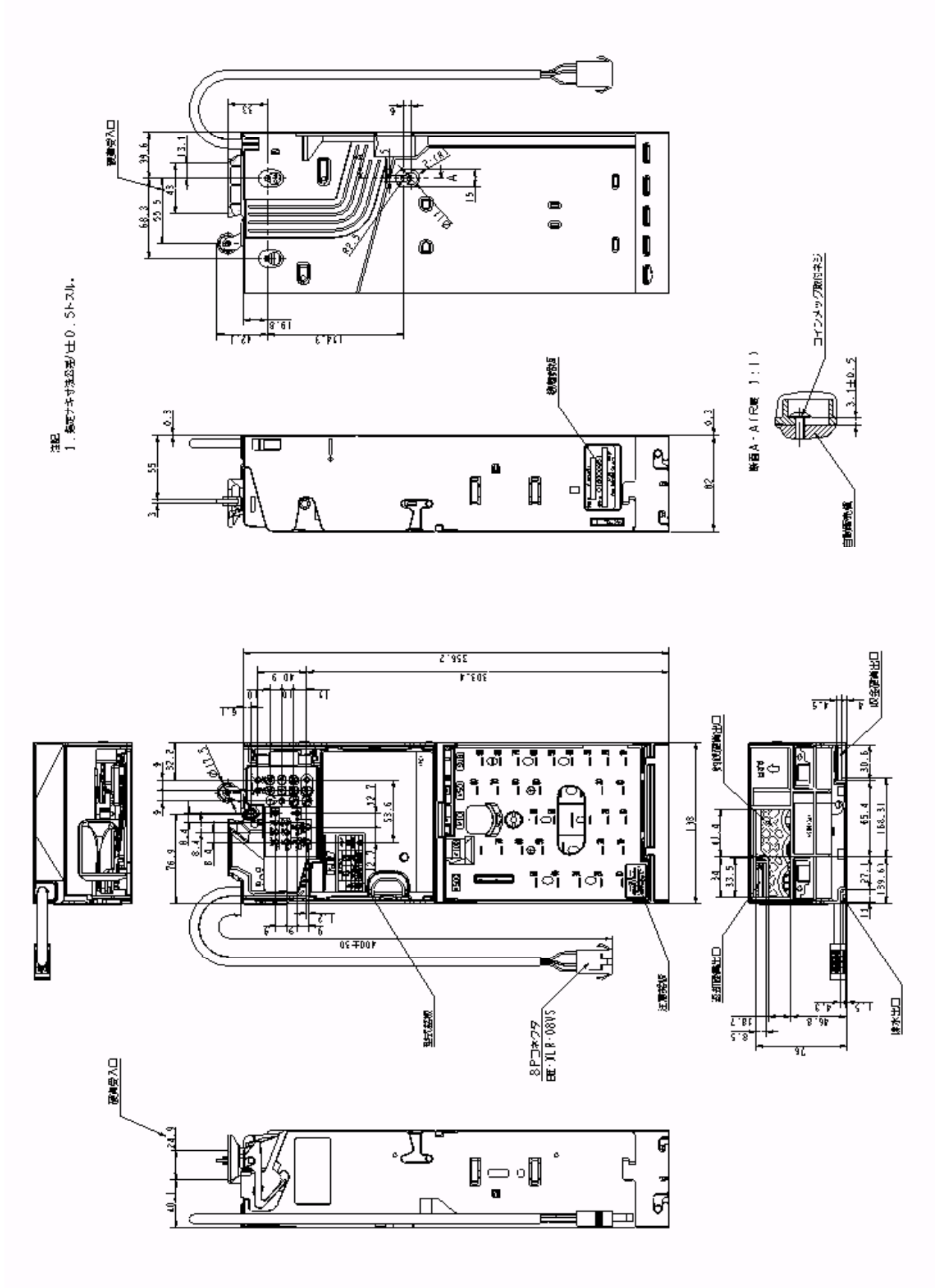


1. 製品の仕様

一般仕様

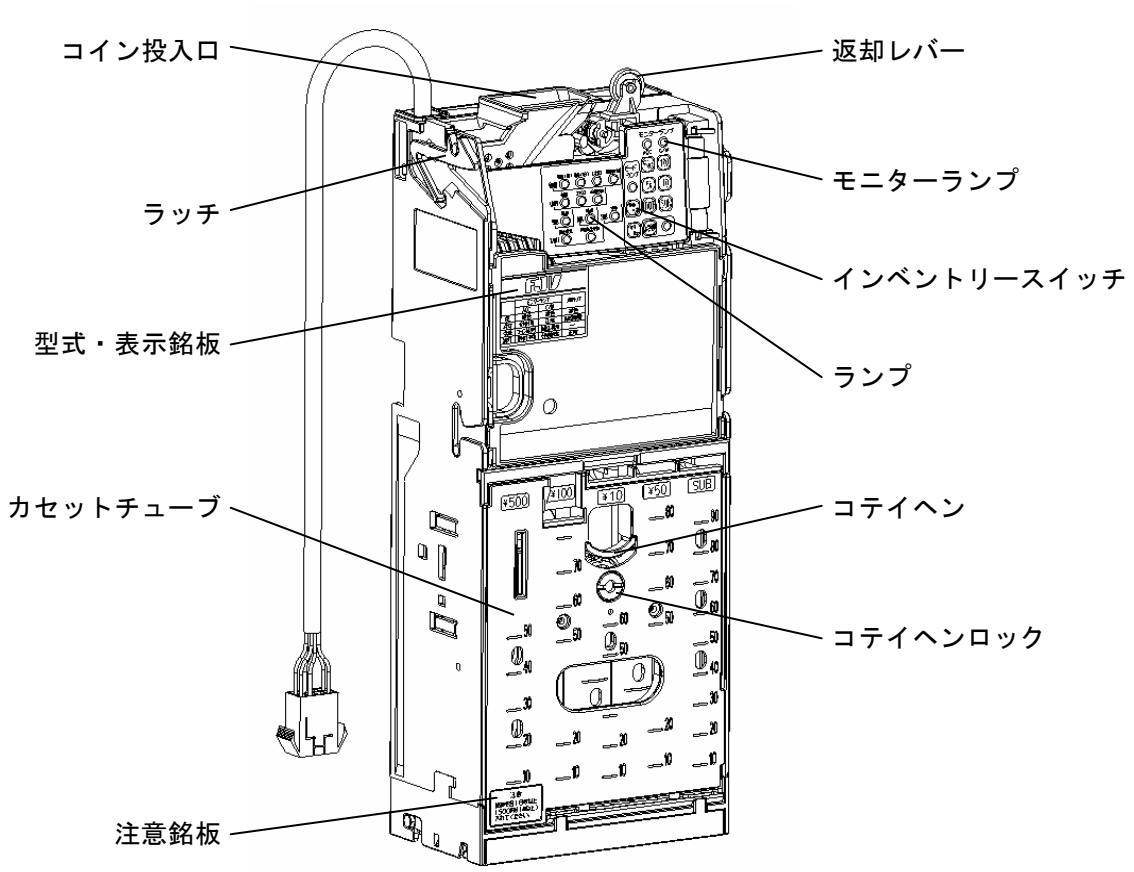
<table>
<tr><td>機　種</td><td>富士電機コインメカニズム</td></tr>
<tr><td>型　式</td><td>ＦＪＶＴ４５１（つり銭合わせ機能付）</td></tr>
<tr><td>外形寸法</td><td>高さ　３７８.５㎜（ローラー含む）× 幅　１３８㎜ × 奥行　８２㎜</td></tr>
<tr><td>製品質量</td><td>約１.８kg</td></tr>
<tr><td>識別硬貨・
つり銭硬貨</td><td>４金種（１０円・５０円・１００円・５００円・新５００円）</td></tr>
<tr><td>つり銭収納枚数
および
つり銭補給方式</td><td>
<table>
<tr><th colspan="2">つり銭チューブ</th><th>収納枚数</th><th>補給方式</th></tr>
<tr><td colspan="2">１０円貨チューブ</td><td>約９０枚</td><td rowspan="4">自動・手動補給兼用</td></tr>
<tr><td colspan="2">５０円貨チューブ</td><td>約７８枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">１００円貨チューブ</td><td>約７７枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">５００円貨チューブ</td><td>約６８枚</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ＳＵＢ
チューブ</td><td>１０円貨使用時</td><td>約１００枚</td><td>いずれかの金種を選択</td></tr>
<tr><td>１００円貨使用時</td><td>約８８枚</td><td>手動補給専用</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>つり銭払出し方式</td><td>ＤＣモーター駆動＋チェンジソレノイド切替え</td></tr>
<tr><td>ダイレクト収金機能</td><td>有り（ＦＲＪ４０２）</td></tr>
<tr><td>硬貨収納枚数切替え</td><td>有り（５００円硬貨：約６８枚，約８枚，０枚
１００円硬貨：約７７枚，約１３枚）</td></tr>
<tr><td>現物エスクロ機能</td><td>有り（１００円硬貨，５００円硬貨）</td></tr>
<tr><td>つり銭払出しスピード</td><td>約２枚／秒</td></tr>
<tr><td>使用温度範囲</td><td>－１５℃～＋６０℃</td></tr>
<tr><td>使用電源</td><td>ＤＣ２４Ｖ±１０%，ＤＣ８Ｖ±５%</td></tr>
<tr><td>オプション</td><td>つり銭補助装置：ＦＴＤ５０４Ｊ，ＦＴＤ４４４Ｊ</td></tr>
<tr><td>つり銭チューブ構造</td><td>カセットチューブ</td></tr>
<tr><td>抑止機能</td><td>有り</td></tr>
<tr><td>点検スイッチ</td><td>有り</td></tr>
<tr><td>稼動履歴</td><td>有り</td></tr>
<tr><td>排水シュート</td><td>内蔵（オプション設定有り）</td></tr>
</table>

外形寸法

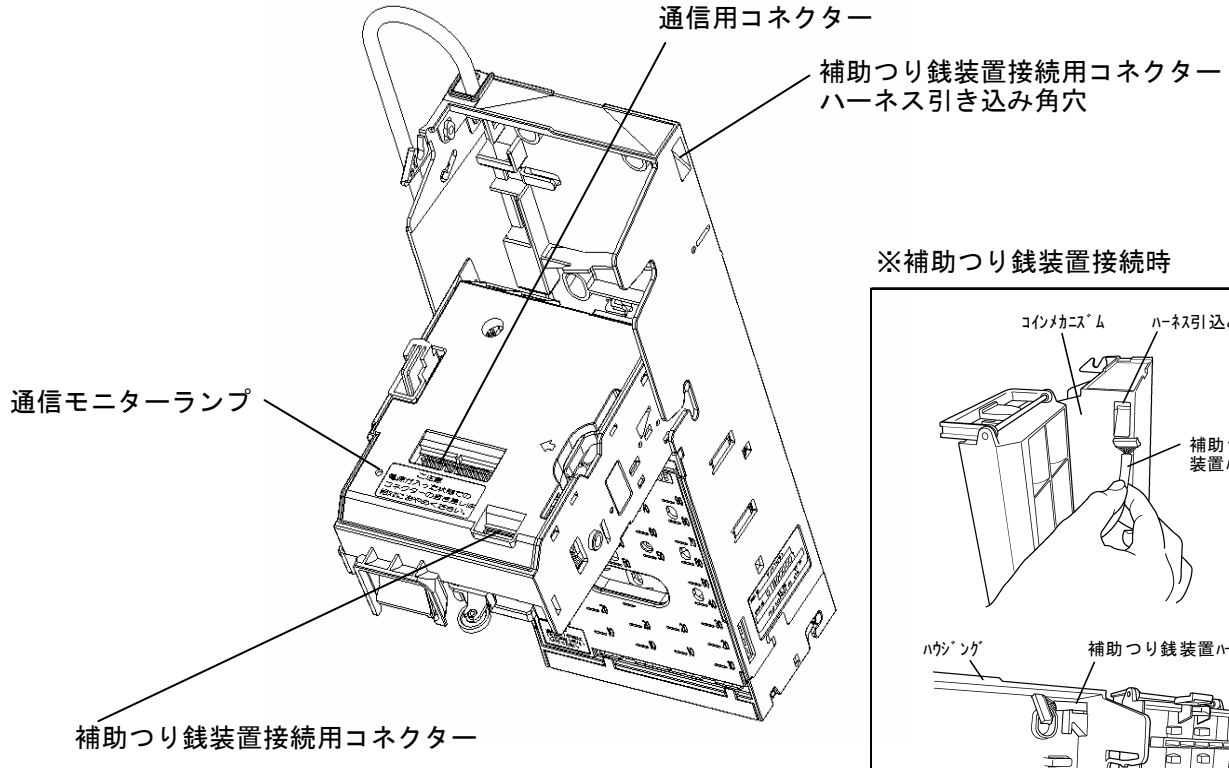


各部の名称

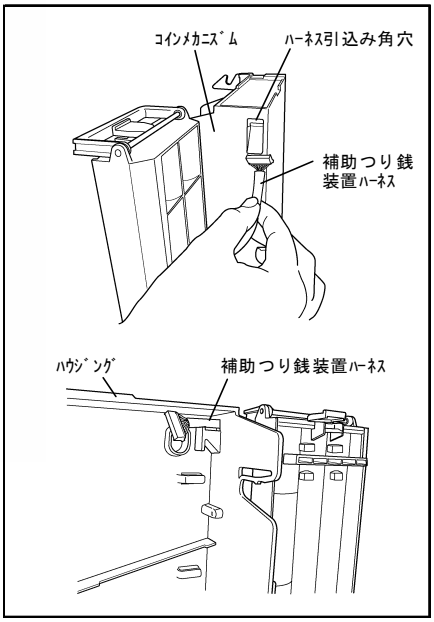
【正面】



【硬貨選別装置裏側】



※補助つり銭装置接続時



2. 取 扱 方 法

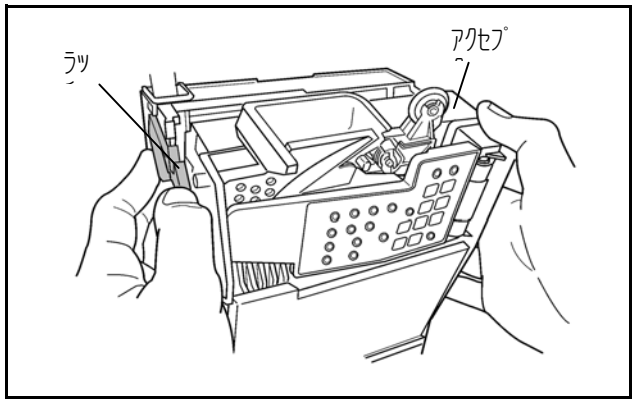
アクセプタの取外し・取付け

電源を切ってから作業をおこなってください。
電源が入ったままの状態でコネクタの抜き差しをすると，故障の原因となります。

■ アクセプタの取外し・取付け

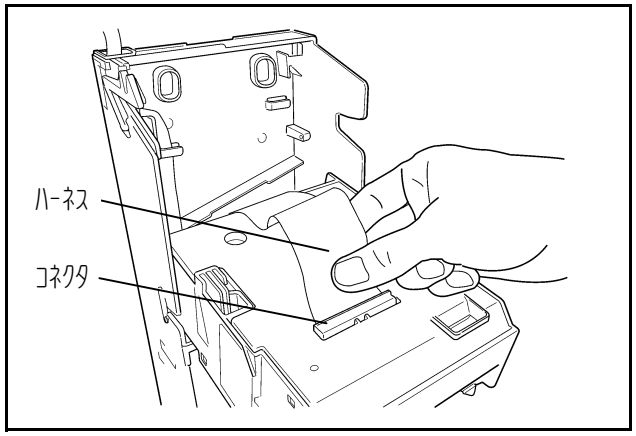
①

取外し	コインメカニズム本体左側のラッチを下げてアクセプタを手前に倒します。
取付け	アクセプタを起こし，ラッチに確実に掛かるようにはめ込みます。



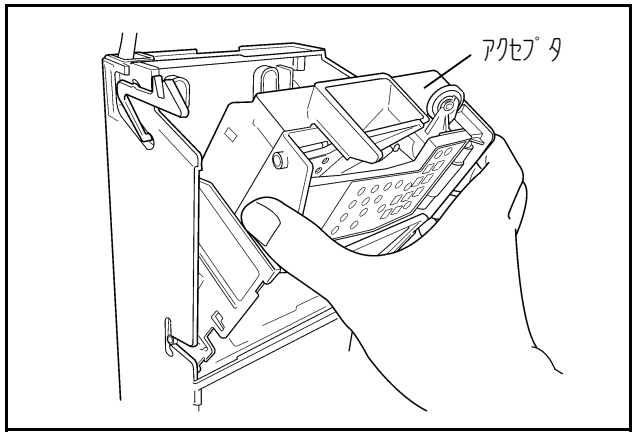
②

取外し	アクセプタとコインメカニズム本体を接続しているコネクタを引き抜きます。
取付け	コネクタをアクセプタ背面のコネクタベースに確実に差し込みます。



③

取外し	アクセプタを約45度に起こし，手前に引抜きます。
取付け	アクセプタの側面下部の凸部を本体の溝に差し込みます。 [！] アクセプタを取付けるときに，ハーネスをはさまぬように注意してください。



1. コネクタを外すときは，必ずハーネスのコネクタ側（根元）を均等につかんでください。
   ハーネス等を無理に外すと破損や断線など故障の原因になります。
2. コネクタがスムーズに差し込めないときは，むやみに力を入れず，もう一度コネクタベースに合わせて差し込んでください。

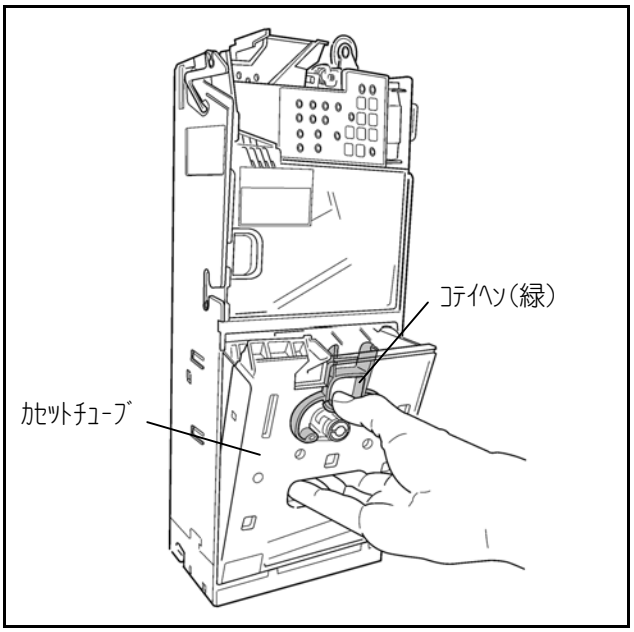
カセットチューブの取外し・取付け

■ カセットチューブの取外し・取付け

①

取外し	カセットチューブ中央のコテイヘン(緑)をつまみ，手前に引くと外れます。

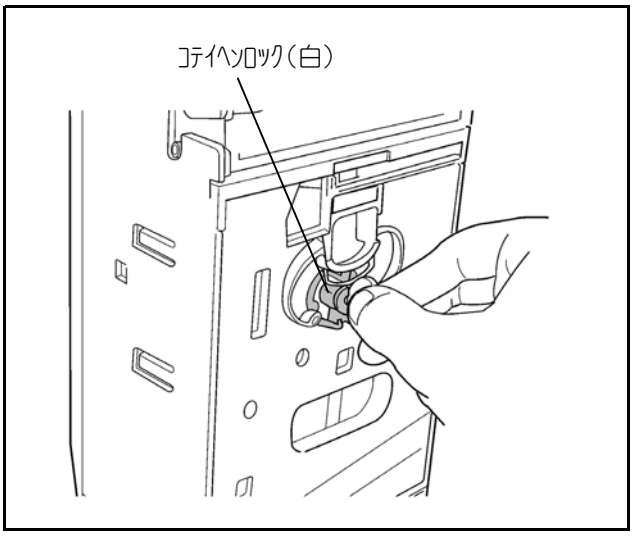
取付け	カセットチューブ下部の凹部を本体の凸部に引っかけそのままカセットチューブを押してセットしてください。 [！] **レバーのつめが本体の角穴に確実に入るようにしてください。**



②

固定解除	カセットチューブ中央のコテイヘンロック(白)を硬貨等で回してバーを水平にしてください。ロックが解除されます。

固定	カセットチューブ中央のコテイヘンロック(白)を硬貨等で回してバーを垂直にしてください。固定されます。 [！] **さらに固定をする場合は穴にネジを締めつけてください。 (ネジはタッピンネジM3×8)**



[！] **カセットチューブが確実に取付けられていないとセットスイッチが動作せず，硬貨が受入れ可能状態になりません。**

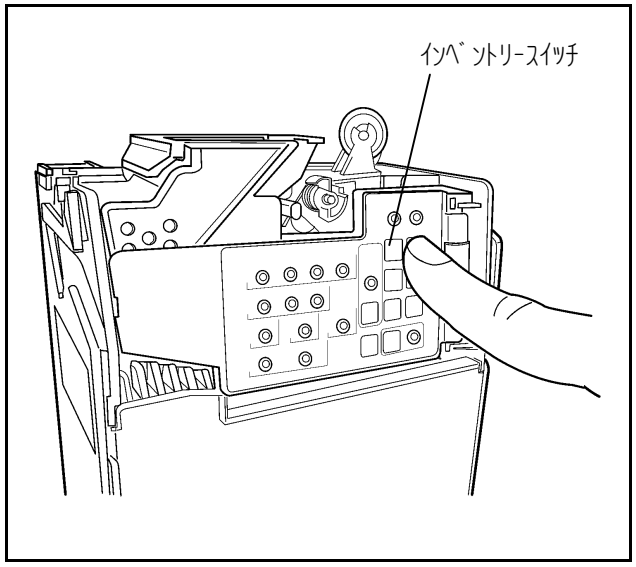
つり銭の回収・補給

■ つり銭の回収

(1) カセットチューブを外さずにつり銭を回収

① インベントリースイッチで回収したい金種のスイッチを押して回収します。
② つり銭回収動作を停止する場合は，T/OFFスイッチを押して停止します。
③ つり銭回収動作開始時の状態によって以下の回数で自動的に停止します。

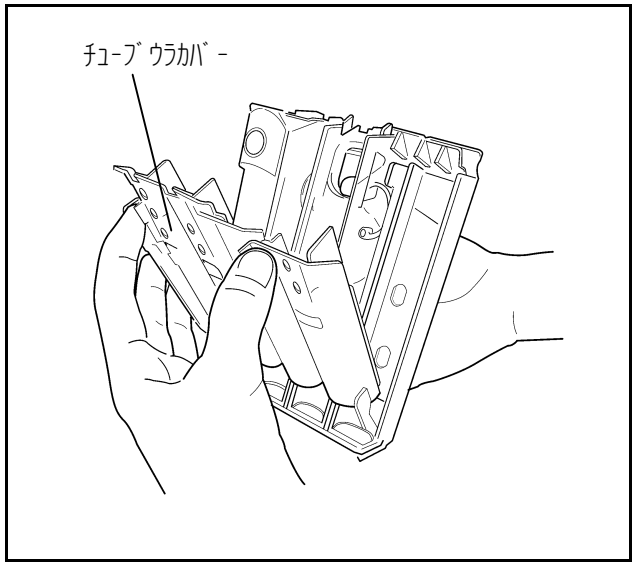
開始時	条件	10円, 50円, 100円, SUB筒	500円筒
つり銭あり	つり銭なし検知後	20回	15回
つり銭なし	――	20回	15回



(2) カセットチューブを外してつり銭を回収

① つり銭の個別回収
カセットチューブを外し，カセットチューブ裏面のチューブウラカバーを２ヶ所のつまみを摘んで開けます。回収したい金種をチューブから硬貨を持ち上げるようにして回収します。

② つり銭の一括回収
カセットチューブを外し，カセットチューブ裏面のチューブウラカバーを２ヶ所のつまみを摘んで開けます。
カセットチューブを逆さまにしてチューブの上部から硬貨を一括で回収します。



［！］ あまりたくさんの硬貨を一度に回収するとつり銭を落とすことがありますので，ご注意ください。

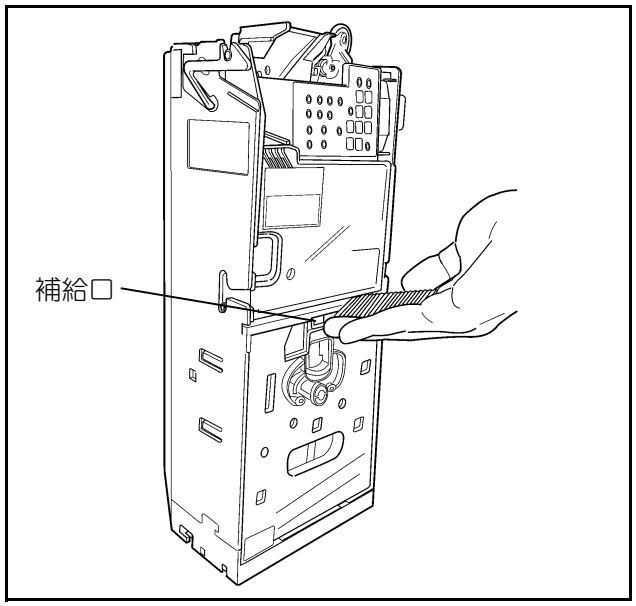
つり銭の回収・補給

■ つり銭の補給のしかた

カセットチューブには，金種別に硬貨を収納します。

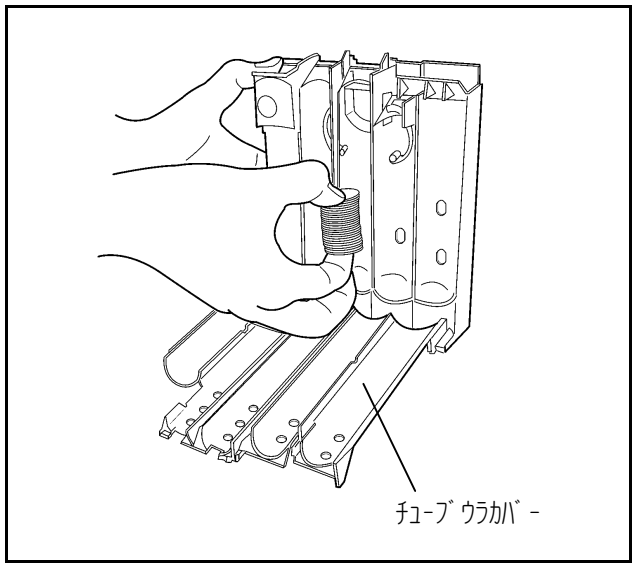
(1) カセットチューブを外さずにつり銭を補給

各金種の手動補給口から硬貨を補給してください。



(2) カセットチューブを外してつり銭を補給

カセットチューブを外し，カセットチューブ裏面のチューブカバーを２ヶ所のつまみを摘んで開けます。
各つり銭チューブに直接必要な枚数を補給してください。補給枚数は，チューブカバーとチューブウラカバーに刻印されている枚数表示が目安となります。



[！] 1. つり銭は，チューブ内の残量が100円・50円・10円硬貨，それぞれ16枚以上になるように入れてください。500円硬貨は，硬貨が正常に払い出されない場合があるため1枚以上は必ず入れておいてください。
2. つり銭の補給の際は，必ず硬貨を水平に積み重ねるように入れてください。

つり銭合わせ機能の使い方

つり銭合わせの機能には，「つり銭合わせ機能」と「簡易つり銭合わせ機能」の２つがあります。

機　能　名　称	自販機の機能設定との連携	設 定 値 の 保 持
つり銭合わせ機能	あり	自販機側で設定値が変更されるまで保持
簡易つり銭合わせ機能	なし	自販機の電源が切断されるとリセットされる

1. つり銭合わせ機能について

つり銭合わせ機能とは，コインメカニズム内のつり銭をあらかじめ設定された枚数に保つことのできる機能をいいます。
つり銭合わせ機能には「自動つり銭払出しモード」と「自動つり銭筒残量モード」があります。

［！］ **この機能は，自動販売機本体のコントロールボックスがつり銭合わせ機能に対応しているときのみ有効となります。**

(1) 自動つり銭払出しモード

① 自動販売機本体側のリモコンを操作して，自動つり銭払出しのデータを設定します。
② 自動つり銭払出しをおこなう方法は，リモコン操作とコインメカニズム側のスイッチ操作の２つあります。

コインメカニズム側のスイッチ操作で行う場合は

T/OFF を１秒間押してください。

コインメカニズム内にあるつり銭が，各金種ごとに設定枚数より多い場合は設定枚数になるまで払出し，少ない場合はその不足分をリモコンに表示します。
③ つり銭が設定された枚数に達すると，自動的に動作を停止します。

(2) 自動つり銭筒残量モード

① 自動販売機本体側のリモコンを操作して，自動つり銭筒残量のデータを設定します。
② 各金種ごとに設定された枚数までつり銭筒内の枚数が達すると，それ以降は自動販売機内の金庫に収納され，つり銭筒内の枚数を一定にします。

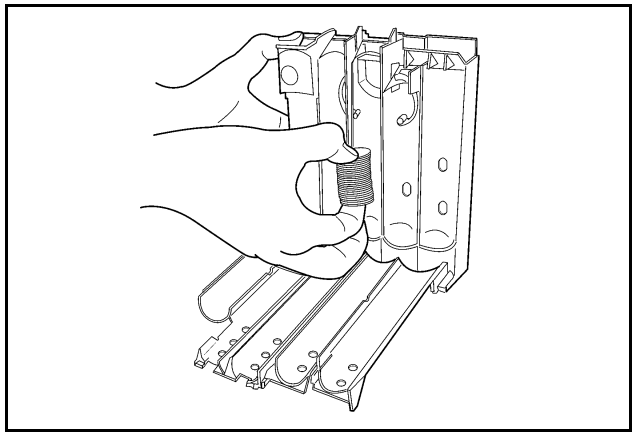
［！］ **詳細は自動販売機本体側のマニュアルを参照してください。**

簡易つり銭合わせ機能の使い方

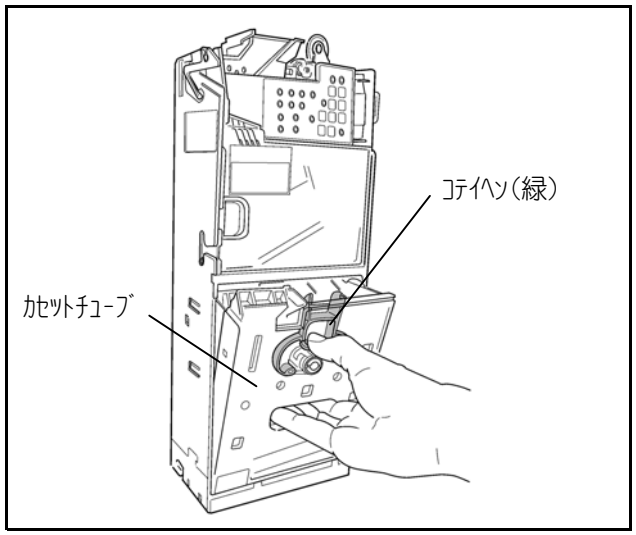
自動販売機側がつり銭合わせ機能に対応していない場合でも，簡易的なつり銭合わせが可能な機能です。
また，本機能使用時には，設定状態をＬＥＤランプで表示する監視モードがあります。
監視モードを併用すると，本機能使用時にモードランプを常時点灯させ，電源の切断等により本機能の設定値が消失した場合にモードランプを消灯して設定値の消失をお知らせすることができます。

1．設定のしかた

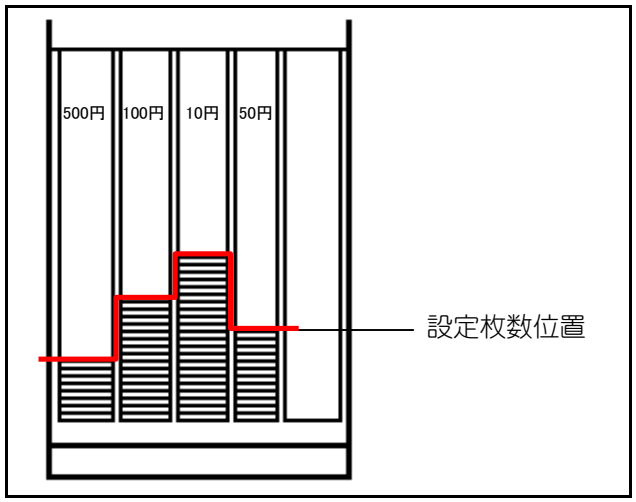
① カセットチューブを外し，設定したい枚数を各金種チューブに補充します。



② カセットチューブをコインメカニズムに確実に取付けます。



③ カセットチューブを取付けた時点で，本設定は完了です。
取付け時の枚数は記憶されていませんが，取付け時を０（基準）として硬貨の出入の枚数を記憶します。

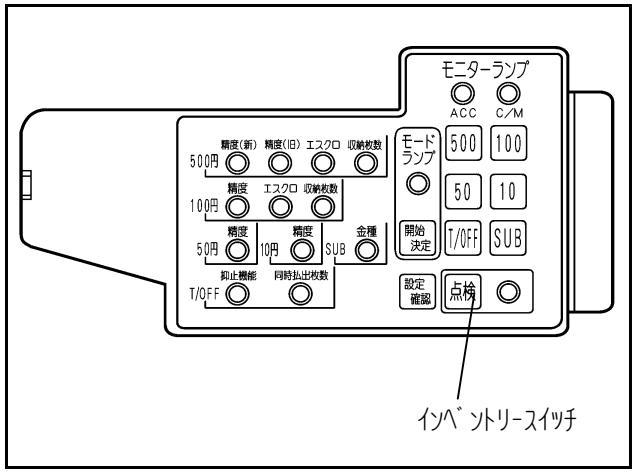


[！] **監視モードを併用するときは下記操作を行ってください。**
1)カセットチューブ取付け後，T/OFFを1秒以上押しつづける。
モニターランプが4回点滅後消灯，モードランプが点灯する。
2)モニターランプの消灯を確認後，再度T/OFFを押す。
モードランプは点灯のまま。T/OFF押した後，モニターランプが点灯したら，監視モード設定完了です。
※停電等により，不測の事態で設定が消失した場合，モードランプが消灯し，設定の消失をお知らせします。

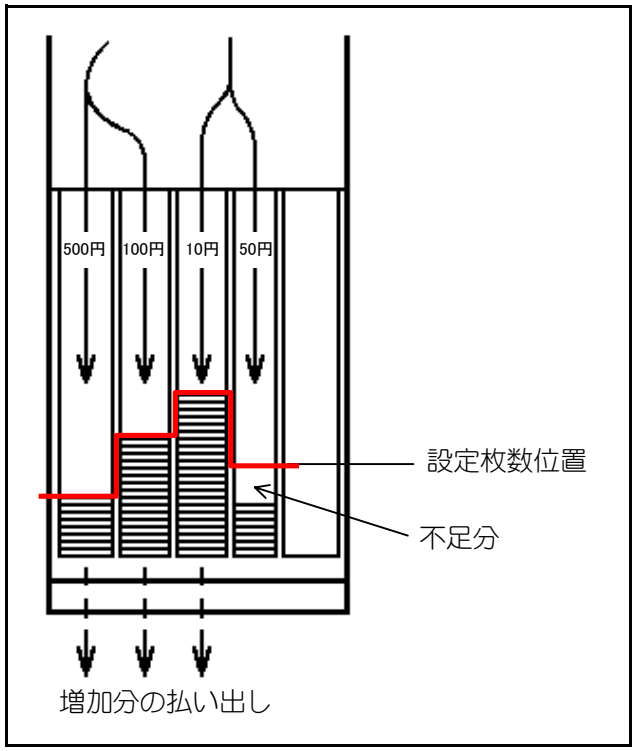
簡易つり銭合わせ機能の使い方

2. つり銭の回収のしかた

① インベントリースイッチの T/OFF を１秒以上押すと，設定した枚数（カセット取付け時の枚数）から多い分の硬貨を払い出し，設定した枚数になります。



② つり銭が設定枚数より少ない場合，インベントリースイッチの該当する金種の精度ランプの点滅により不足金種の表示をします。この時投入口から対象の硬貨を補充してください。この場合，設定枚数に達した硬貨は，自販機の返却口へ排出されます。またはカセットチューブを外して硬貨を補充してください。

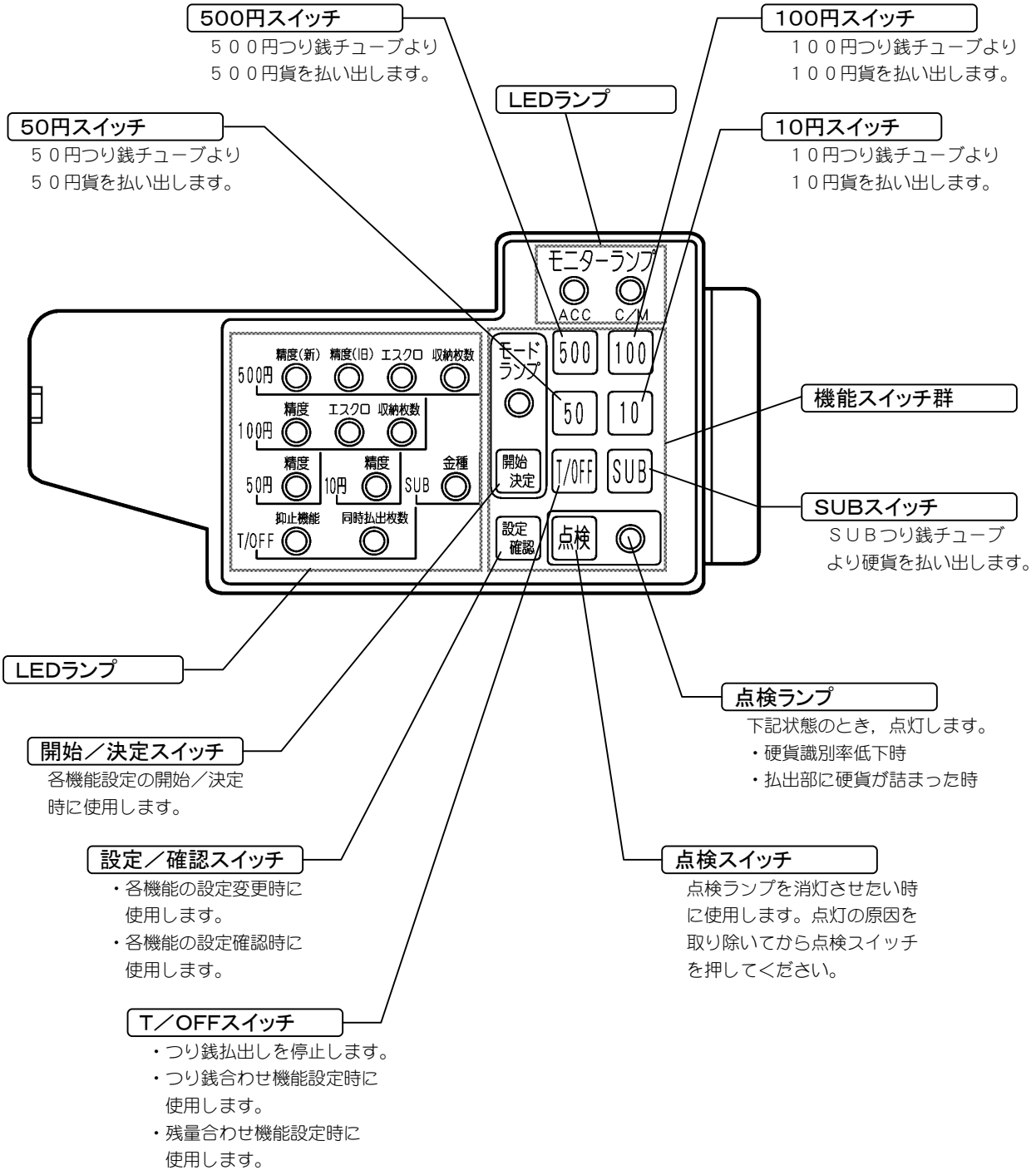


[！] 1. カセットチューブの設定枚数位置に印を付けておくと，補充のときの目安になります。
2. 硬貨補充時に一旦カセットチューブを外して再取付した場合，前に設定した枚数はクリアされ，この時の枚数が設定枚数になります。

[！] 1. 各つり銭チューブ(10円，50円，100円)の最初に設定する枚数は，つり銭ありにするため16枚以上で設定してください。500円は1枚以上で設定してください。
2. 本機能はバックアップ機能を備えていませんので，カセットチューブを外したとき，停電などで電源が遮断されたときや主制御側との通信が遮断されたときは，再設定してください。
※監視モード併用時はモードランプの消灯でお知らせします。

インベントリースイッチの名称とはたらき

1. インベントリースイッチの名称とはたらき



補 足

つり銭合わせ機能：硬貨回収時，設定された枚数をチューブに残し，返却口に硬貨を払い出します。

残量合わせ機能　：各チューブ毎に，設定枚数以上をコインボックスに回収します。

[！] **つり銭合わせ，残量合わせ機能は，自販機側で設定します。**

2. 各LEDランプの状態

【状態表示ランプ】

ＬＥＤランプ		色	点灯	点滅	消灯
ﾓﾆﾀｰﾗﾝﾌﾟ	ACC ※1, ※3	赤色	受付け可	コイン詰まり	受付け不可
	C/M ※1, ※3	緑色	正常	払出し異常	その他の異常
点検ランプ		緑色	清掃点検必要	－	正常
ﾓｰﾄﾞﾗﾝﾌﾟ ※2		赤色	簡易釣管稼動	機能設定モード状態	簡易釣管機能なし設定終了

補 足

※１：機能設定モード状態では，
　ＡＣＣ：はやい点滅をし，機能設定時の状態確認の目安となります。
　Ｃ／Ｍ：おそい点滅をし，機能設定時の状態確認の目安となります。
※２：機能設定モード状態では，該当機能の状態を表示します。
※３：点検ランプが点灯しているとき
　・ＡＣＣが点滅している場合は，アクセプタの清掃点検が必要であることを示します。
　・Ｃ／Ｍが点滅している場合は，つり銭払出し部の清掃点検が必要であることを示します。

【機能設定・確認時のランプ状態】

群	機能ランプ	色	ラ ン プ 状 態			
			点灯	はやい点滅	おそい点滅	消灯
５００円	精度（新）	赤色	標準	精度アップ１	精度アップ２	受付禁止
	精度（旧）	赤色	標準	精度アップ１	精度アップ２	受付禁止
	エスクロ	緑色	現物エスクロ有効	－	現物エスクロ無効	－
	収納枚数	緑色	約６８枚	約８枚	０枚	－
１００円	精度	赤色	標準	精度アップ１	精度アップ２	受付禁止
	エスクロ	緑色	現物エスクロ有効	－	現物エスクロ無効	－
	収納枚数	緑色	約７７枚	約１３枚	－	－
５０円	精度	赤色	標準	精度アップ１	精度アップ２	受付禁止
１０円	精度	赤色	標準	精度アップ１	精度アップ２	受付禁止
ＳＵＢ	金種	緑色	１０円設定	－	１００円設定	－
Ｔ／ＯＦＦ	抑止機能	赤色	抑止機能有効	－	抑止機能無効	－
	同時払出枚数	緑色	１枚同時払出し	２枚同時払出し	３枚同時払出し	－

3. インベントリー自動停止の条件

つぎの条件でつり銭払出しの自動停止を行います。

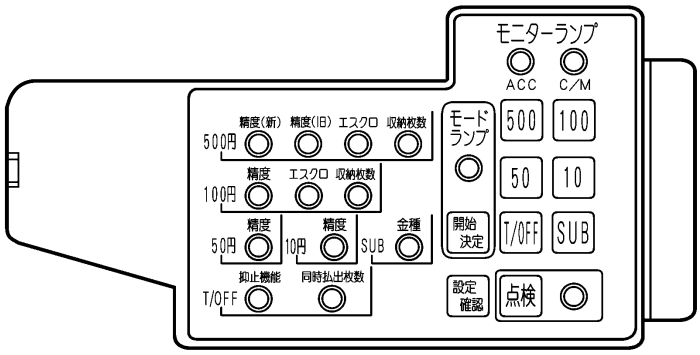
つり銭の状態	10円, 50円, 100円, SUBﾁｭｰﾌﾞ	500円ﾁｭｰﾌﾞ
つり銭あり状態で開始	つり銭なしを検知してから20回	つり銭なしを検知してから15回
つり銭なし状態で開始	20回	15回

つぎの場合は，インベントリー操作ができません。

① 電源投入後，ペイアウト待機位置確認を終了するまで
② 返金動作中
③ 硬貨払出し異常の時
④ 自販機制御側でインベントリー禁止設定を行っているとき

各種設定のしかた

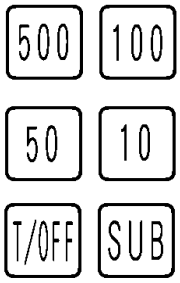
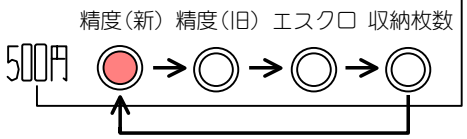
1. 各種設定の手順とランプ表示



●「500円貨の精度(新)を はやい点滅（精度アップ１）に設定する」を例に説明します。

スイッチの操作手順	ランプ表示内容	操作内容の説明
1 設定を開始する 開始 決定 を２秒以上押します。	モードランプ　モニターランプ ＡＣＣ　Ｃ／Ｍ 点滅　はやい点滅　おそい点滅	各種の設定ができる状態(モード)になります。
2 設定群選択 500　100 50　10 T/OFF　SUB **機能スイッチ群** 該当するスイッチを押します。	＜例＞ 500 を押したとき 精度(新)　精度(旧)　エスクロ　収納枚数 500円 点灯 モードランプ　点灯／はやい点滅／おそい点滅／消灯 のどれかを表示します。	機能スイッチを押すと，押されたスイッチに該当するＬＥＤランプの四角で囲まれた同一グループの左端のランプが点灯します。 モードランプはこの点灯したランプに該当する機能の現在の設定状態（点灯，はやい点滅，おそい点滅，消灯）のいずれかを表示します。

各種設定のしかた

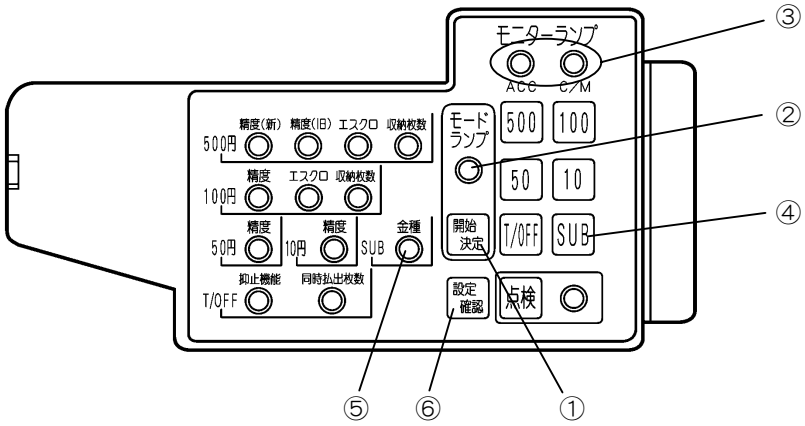
スイッチの操作手順	ランプ表示内容	操作内容の説明
3 設定機能を選択する  **機能スイッチ群** 該当するスイッチを押します。	＜例＞ 500 を押したとき  機能スイッチを押す度に，ＬＥＤの点灯が順送りされます。 モードランプ 点灯／はやい点滅／おそい点滅／消灯 のどれかを表示します。	２で押したスイッチを押して，設定する機能を選択します。 ランプが点灯した機能の設定ができます。 モードランプは選択した機能の現在の設定状態を表示します。
4 設定機能を確定する 設定確認 を押します。	 点滅	３で選択した機能が確定し，そのランプが点滅します。 モードランプが選択された機能の現在の設定状態を表示します。
5 設定する機能の設定を選択する 設定確認 を押します。	モードランプ 点灯→はやい点滅→おそい点滅→消灯 設定確認 を押す度にモードランプ表示が変わります。 精度(新)のＬＥＤが点滅	設定する機能の設定を選択します。 モードランプは選択した機能の現在の設定状態を表示します。 設定中のＬＥＤは点滅しています。
6 設定機能の内容を確定する 開始決定 を押します。	 点灯	選択した機能の設定内容を確定します。 設定中のＬＥＤが点滅から点灯に変わります。 モードランプは選択した機能の設定状態を表示します。
7 設定モードの終了 ・返却レバーを操作します。	モードランプ が消灯します。	・返却レバーを操作すると，設定終了となります。 ・30秒以上操作せず，放置した場合は強制終了となり，変更した内容は無効となります。

SUBチューブの金種切替え

1. SUBチューブの金種切替え

ＳＵＢチューブは，収納する金種（10円または100円）の切替えが可能です。

2. 設定のしかた



手順	操作スイッチ	操作方法	ランプ表示内容
1	① 開始決定	開始決定 を２秒以上押します。	②モードランプが点滅し，設定モードになります。 ③ＡＣＣランプははやい点滅，Ｃ／Ｍランプはおそい点滅をします。
2	④ ＳＵＢ	ＳＵＢ を押します。	⑤ ＳＵＢ 金種 が点灯します。 点灯している金種ランプの現在の設定状態がモードランプに表示されます。
3	⑥ 設定確認	設定確認 を押して，手順２で選択した機能を確定します。	ＳＵＢ 金種 が点滅します。 現在の設定状態がモードランプに表示されます。
4	設定確認	モードランプが設定する状態※になるまで 設定確認 を押します。	設定内容を選択します。 設定確認 を押す度にモードランプは， 点灯⇒おそい点滅を交互に繰り返します。

SUBチューブの金種切替え

手順	操作スイッチ	操作方法	ランプ表示内容
5	開始 決定	開始 決定 を押して，手順４で選択した内容を確定します。	選択した　金種 ＳＵＢ◎ が点灯し，モードランプに設定状態が表示されます。 これで設定は完了です。

※ ＳＵＢチューブの金種切替えのときのモードランプ表示

設定機能	設定群	モードランプ状態		
		点灯	はやい点滅	おそい点滅
ＳＵＢチューブ金種	ＳＵＢ	１０円	－	１００円

3. 設定モードの終了

つぎの操作で設定モードが終了できます。

・返却レバーを操作する（この場合，設定は有効となります）。
・30秒以上操作せず，放置する（この場合，設定は無効となります）。

4. 設定状態の確認

設定
確認 を押すと，設定／確認モードになり，各機能の現在の設定状態が確認できます。

つぎの操作で設定／確認モードが終了できます。

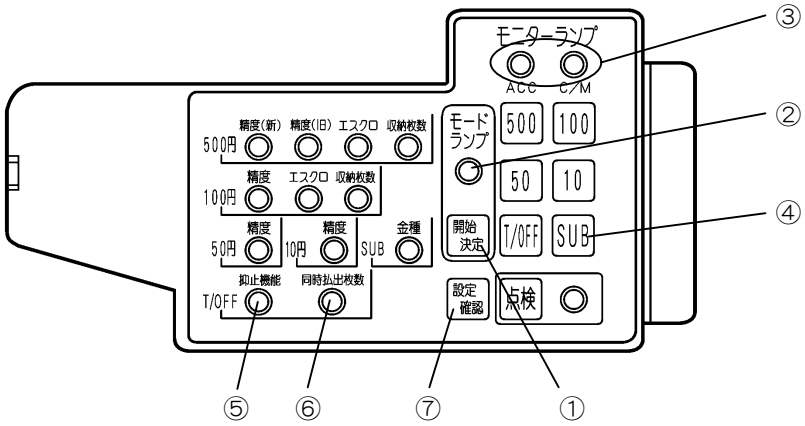
・現在の設定表示時に，もう一度 設定
確認 を押す。
・30秒以上操作せず，放置する。
・返却レバーを操作する。

同時払出枚数の切替え

1. 同時払出枚数の切替え

返却硬貨の同時払出枚数を切り替えることが可能です。
同時払出枚数は，最大３枚，２枚，１枚の設定が可能です。
つり銭リフターをご使用の場合は，硬貨詰まりを防ぐため，同時払出枚数を２枚以下に設定してください。

2. 設定のしかた



手順	操作スイッチ	操作方法	ランプ表示内容
1	① 開始 決定	開始 決定 を２秒以上押します。	②モードランプが点滅し，設定モードになります。 ③ＡＣＣランプははやい点滅，Ｃ／Ｍランプはおそい点滅をします。
2	④ T/OFF	T/OFF を押します。	⑤抑止機能ランプが点灯します。 点灯している抑止機能ランプの現在の設定状態がモードランプに表示されます。
3	④ T/OFF	ランプの点灯が設定する機能，⑥同時払出機能ランプに移動するまで， 選択した金種の T/OFF を押します。	T/OFF を押す度に点灯するランプが同一群の中で順送りされて移動します。
4	⑦ 設定 確認	設定 確認 を押して，手順３で選択した機能を確定します。	同時払出機能ランプが点滅します。 現在の設定状態がモードランプに表示されます。

同時払出枚数の切替え

手順	操作スイッチ	操作方法	ランプ表示内容
5	設定 確認	モードランプが設定する状態※になるまで 設定 確認 を押します。	設定 確認 を押す度にモードランプの状態が点灯⇒はやい点滅⇒おそい点滅を繰り返します。
6	開始 決定	開始 決定 を押し，手順５で選択した内容を確定します。	同時払出機能のランプが点灯状態に戻り，モードランプに設定状態が表示されます。これで設定は完了です。

※ 同時払出枚数の切替えのときのモードランプ表示

設定機能	設定群	モードランプ状態		
		点灯	はやい点滅	おそい点滅
同時払出枚数	Ｔ／ＯＦＦ	１枚	２枚	３枚

3. 設定モードの終了

つぎの操作で設定モードが終了できます。

・返却レバーを操作する（この場合，設定は有効となります）。
・30秒以上操作せず，放置する（この場合，設定は無効となります）。

4. 設定状態の確認

設定
確認 を押すと，設定／確認モードになり，各機能の現在の設定状態を確認できます。

つぎの操作で設定／確認モードが終了できます。

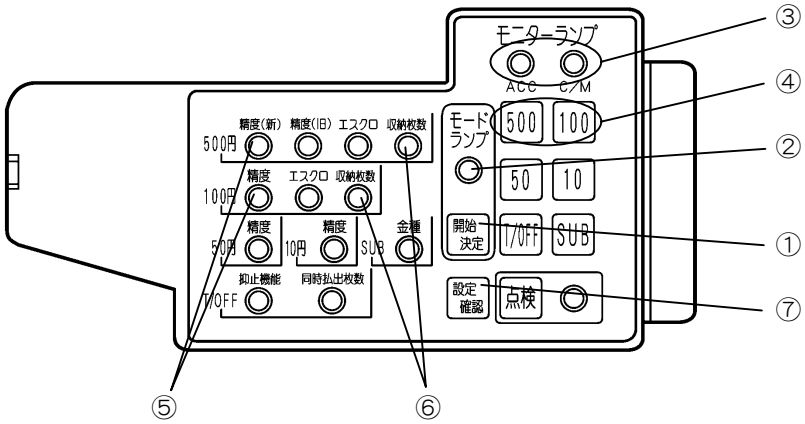
・現在の設定表示時に，もう一度 設定
確認 を押す。
・30秒以上操作せず，放置する。
・返却レバーを操作する。

収納枚数の切替え

1. 収納枚数の切替え

アクセプタのダイレクト収金機能を使用し，500円チューブ内のつり銭収納枚数を，０枚，約８枚（収金モード）または，約68枚（チューブモード）の３段階，100円チューブ内のつり銭収納枚数を，約13枚，約77枚の２段階に切り替えることができます。

2. 設定のしかた



手順	操作スイッチ	操作方法	ランプ表示内容
1	① 開始 決定	開始 決定 を２秒以上押します。	②モードランプが点滅し，設定モードになります。 ③ＡＣＣランプははやい点滅，Ｃ／Ｍランプはおそい点滅をします。
2	④ ５００ 500円設定のとき １００ 100円設定のとき	収納枚数を切り替える金種 １００ または ５００ を押します。	選択した金種の⑤精度ランプが点灯します。 点灯している精度ランプの現在の設定状態がモードランプに表示されます。
3	５００ 500円設定のとき １００ 100円設定のとき	ランプの点灯が設定する機能，⑥収納枚数ランプに移動するまで，選択した金種のスイッチを押します。	スイッチを押す度に点灯するＬＥＤランプが同一群の中で順送りされて移動します。

収納枚数の切替え

手順	操作スイッチ	操作方法	ランプ表示内容
4	⑦ 設定確認	設定確認 を押して，手順３で選択した機能を確定します。	選択した金種の収納枚数ランプが点滅します。 現在の設定状態がモードランプに表示されます。
5	設定確認	モードランプが設定する状態※になるまで 設定確認 を押します。	設定確認 を押す度にモードランプは， 点灯⇒はやい点滅⇒おそい点滅を繰り返します。
6	開始決定	開始決定 を押し，手順５で選択した内容を確定します。	選択した金種の収納枚数ランプが点灯し，モードランプに設定状態が表示されます。 これで設定は完了です。

※ 収納機能を切替えるときのモードランプ表示

設定機能	設定群	モードランプ状態		
		点灯	はやい点滅	おそい点滅
収納枚数	５００円	約６８枚	約８枚	０枚
	１００円	約７７枚	約１３枚	－

3. 設定モードの終了

つぎの操作で設定モードが終了できます。

・返却レバーを操作する（この場合，設定は有効となります）。
・30秒以上操作せず，放置する（この場合，設定は無効となります）。

4. 設定状態の確認

設定確認 を押すと，設定／確認モードになり，各機能の現在の設定状態を確認できます。

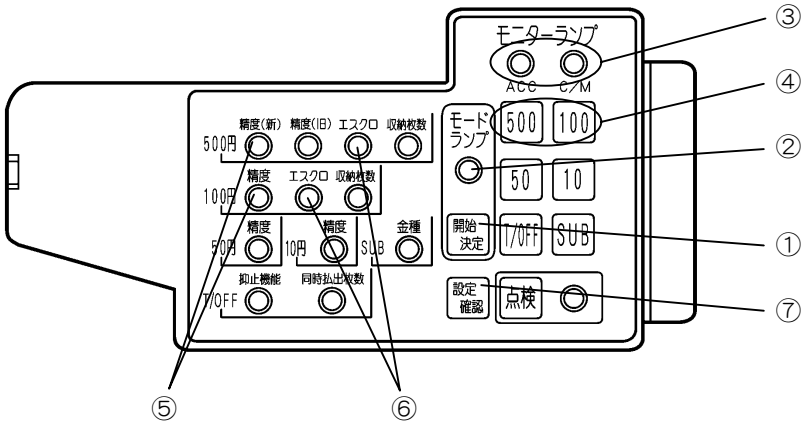
つぎの操作で設定／確認モードが終了できます。

・現在の設定表示時に，もう一度 設定確認 を押す。
・30秒以上操作せず，放置する。
・返却レバーを操作する。

現物エスクロ機能の使い方

現物エスクロ機能とは，投入された100円硬貨または500円硬貨をつり銭筒内に回収せず，一旦硬貨選別機内に保留し，返金されるときにその保留した硬貨から優先して返金する偽造硬貨対策に有効な機能です。
この操作は，パネルスイッチ（インベントリースイッチ）の設定で有効／無効の切替えができます。

1. 設定のしかた



手順	操作スイッチ	操作方法	ランプ表示内容
1	① 開始 決定	開始 決定 を２秒以上押します。	②モードランプが点滅し，設定モードになります。 ③ＡＣＣランプははやい点滅，Ｃ／Ｍランプはおそい点滅をします。
2	④ ５００ 500円設定のとき １００ 100円設定のとき	エスクロ機能を設定する金種 １００ または ５００ を押します。	選択した金種の⑤精度ランプが点灯します。 点灯している精度ランプの現在の設定状態がモードランプに表示されます。
3	５００ 500円設定のとき １００ 100円設定のとき	ランプの点灯が設定する機能，⑥エスクロランプに移動するまで，選択した金種のスイッチを押します。	スイッチを押す度に点灯するＬＥＤランプが同一群の中で順送りされて移動します。

現物エスクロ機能の使い方

手順	操作スイッチ	操作方法	ランプ表示内容
4	⑦ 設定確認	設定確認 を押して，手順３で選択した機能を確定します。	選択した金種のエスクロランプが点滅します。 現在の設定状態がモードランプに表示されます。
5	設定確認	モードランプが設定する状態※になるまで 設定確認 を押します。	設定確認 を押す度にモードランプは，点灯⇒おそい点滅を繰り返します。
6	開始決定	開始決定 を押し，手順５で選択した内容を確定します。	選択した金種のエスクロランプが点灯し，モードランプに設定状態が表示されます。 これで設定は完了です。

※現物エスクロ設定のときのモードランプ表示

設定機能	設定群	モードランプ状態		
		点灯	はやい点滅	おそい点滅
エスクロ	５００円	現物ｴｽｸﾛ有効	－	現物ｴｽｸﾛ無効
	１００円	現物ｴｽｸﾛ有効	－	現物ｴｽｸﾛ無効

3. 設定モードの終了

つぎの操作で設定モードが終了できます。

・返却レバーを操作する（この場合，設定は有効となります）。
・30秒以上操作せず，放置する（この場合，設定は無効となります）。

4. 設定状態の確認

設定確認 を押すと，設定／確認モードになり，各機能の現在の設定状態を確認できます。

つぎの操作で設定／確認モードが終了できます。

・現在の設定表示時に，もう一度 設定確認 を押す。
・30秒以上操作せず，放置する。
・返却レバーを操作する。

犯罪抑止機能

1. 犯罪抑止機能について

犯罪抑止機能とは，各金種の受入枚数制限を通常より少なくし，さらに投入枚数と返金枚数やその組み合わせで，偽貨による正貨搾取と判断したときに，一時的に硬貨受入禁止状態にする偽貨対策に有効な機能です。
この機能は，インベントリースイッチの設定で有効／無効の切替えができます。

(1) 受入禁止状態になる条件

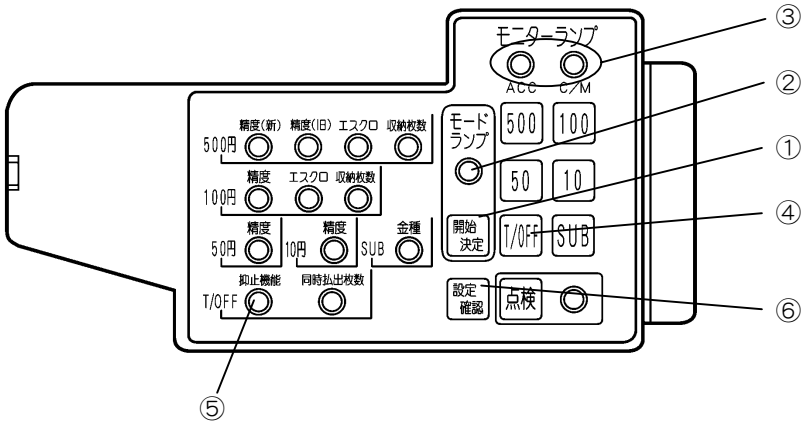
・最大投入枚数まで硬貨を投入し，何も購入せずに返却レバーを操作したとき
・投入金額と返金金額が等しい，投入～返金が３分以内に２回連続して行われたとき

上記の条件に合致する行為がおこなわれた場合，受入禁止時間は下記の通りになります。

	受入禁止時間
１回目	30秒間
２回目	１分間
３回目	２分間
４回目以降	４分間

また，受入禁止時間は，販売がおこなわれたとみなされた場合，初期値（30秒）に戻ります。

2. 設定のしかた



手順	操作スイッチ	操作方法	ランプ表示内容
1	① 開始 決定	開始 決定 を２秒以上押します。	②モードランプが点滅し，設定モードになります。 ③ＡＣＣランプははやい点滅，Ｃ／Ｍランプはおそい点滅をします。

犯罪抑止機能

手順	操作スイッチ	操作方法	ランプ表示内容
2	④ T/OFF	T/OFF を押します。	Ｔ／ＯＦＦ群の⑤抑止機能ランプが点灯します。 点灯している抑止機能ランプの現在の設定状態がモードランプに表示されます。
3	T/OFF	ランプの点灯が設定する機能，⑤抑止機能ランプに移動するまで T/OFF を押します。	スイッチを押す度に点灯するＬＥＤランプが同一群の中で順送りされて移動します。
4	⑦ 設定 確認	設定 確認 を押し，手順３で選択した機能を確定します。	選択した金種の抑止機能ランプが点滅します。 現在の設定状態がモードランプに表示されます。
5	設定 確認	モードランプが設定する状態※1になるまで 設定 確認 を押します。	設定 確認 を押す度にモードランプは， 点灯⇒おそい点滅を繰り返します。
6	開始 決定	開始 決定 を押し，手順５で選択した内容を確定します。	選択した金種の抑止機能ランプが点灯し，モードランプに設定状態が表示されます。これで設定は完了です。

犯罪抑止機能

※１ 犯罪抑止機能設定時のモードランプ表示

設定機能	設定群	ＬＥＤランプ状態		
		点灯	はやい点滅	おそい点滅
抑止機能(全金種)	Ｔ／ＯＦＦ	有効 ※2 下表による	－	無効

※２ **抑止機能の設定状態による(投入)硬貨の受付枚数**

金種			抑止機能有効	抑止機能無効
	現物エスクロ機能	収納枚数 切替設定	（投入）硬貨の受付枚数	
500円	使用する	68枚	3	3
		8枚	3	3
		0枚	3	3
	使用しない	68枚	2	8
		8枚	2	4
		0枚	3 ※３	3 ※３
100円	使用する	77枚	6	4
		13枚	6	4
	使用しない	77枚	6	30
		13枚	6	10
50円			4	30
10円			20	30

※ ３：現物エスクロ機能として，装置は稼動する

3. 設定モードの終了

つぎの操作で設定モードが終了できます。

・返却レバーを操作する（この場合，設定は有効となります）。
・30秒以上操作せず，放置する（この場合，設定は無効となります）。

4. 設定状態の確認

設定確認 を押すと，設定／確認モードになり，各機能の現在の設定状態を確認できます。

つぎの操作で設定／確認モードが終了できます。

・現在の設定表示時に，もう一度 設定確認 を押す。
・30秒以上操作せず，放置する。
・返却レバーを操作する。

偽貨排除レベルアップ機能と受付禁止

1. 偽貨排除レベルアップ機能と受付禁止

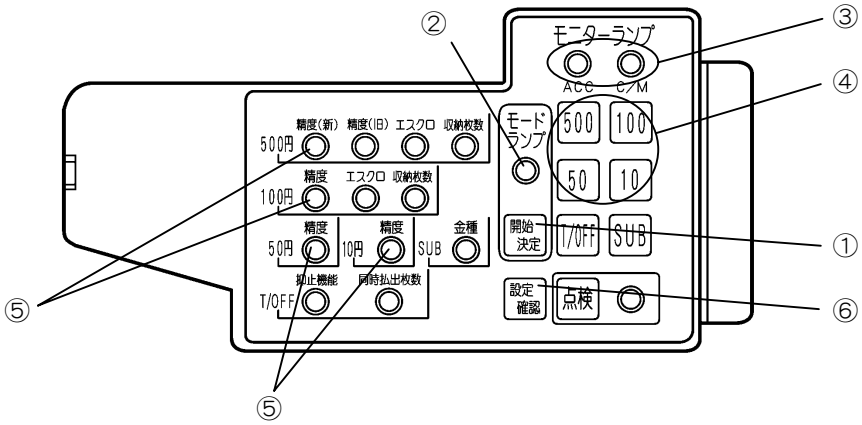
本機能は，偽貨排除を優先として選別性能(精度)をレベルアップあるいは特定金種を受付禁止にする機能です。

本機能を４段階に設定することができます。精度が高くなる程受入範囲を狭くし，偽貨排除性能をアップします。

標準＜精度アップ１＜精度アップ２＜受付禁止

低 ←―――― 精度 ――――→ 高

2. 設定のしかた



手順	操作スイッチ	操作方法	ランプ表示内容
1	① 開始 決定	開始 決定 を２秒以上押します。	②モードランプが点滅し，設定モードになります。 ③ＡＣＣランプははやい点滅，Ｃ／Ｍランプはおそい点滅をします。
2	④ ５００ 500円設定のとき １００ 100円設定のとき ５０ 50円設定のとき １０ 10円設定のとき	精度および受付禁止設定を変更したい金種（10円，50円，100円，500円）群のスイッチを押します。	選択した金種の⑤精度ランプが点灯します。 点灯している精度ランプの現在の設定状態がモードランプに表示されます。

偽貨排除レベルアップ機能と受付禁止

手順	操作スイッチ	操作方法	ランプ表示内容
3	５００ 500円設定のとき １００ 100円設定のとき ５０ 50円設定のとき １０ 10円設定のとき	ランプの点灯が設定する機能，⑤精度ランプに移動するまで，選択した金種のスイッチを押します。 500円貨は，旧500円，新500円別に設定することができます。	スイッチを押す度に点灯するＬＥＤランプが同一群の中で順送りされて移動します。
4	⑥ 設定確認	設定確認 を押して，手順３で選択した機能を確定します。	選択した金種の精度ランプが点滅します。 現在の設定状態がモードランプに表示されます。
5	設定確認	モードランプが設定する状態※になるまで 設定確認 を押します。	設定確認 を押す度にモードランプは， 点灯⇒はやい点滅⇒おそい点滅を繰り返します。
6	開始決定	開始決定 を押し，手順５で選択した内容を確定します。	選択した金種の精度ランプが点灯し，モードランプに設定状態が表示されます。 これで設定は完了です。

※ 偽貨排除レベルアップ機能と受付禁止設定のときのモードランプ表示

設定機能	設定群	モードランプ状態			
		点灯	はやい点滅	おそい点滅	消灯
精　度	全金種	標準	精度アップ１	精度アップ２	受付禁止

3. 設定モードの終了

つぎの操作で設定モードが終了できます。

・返却レバーを操作する（この場合，設定は有効となります）。
・30秒以上操作せず，放置する（この場合，設定は無効となります）。

4. 設定状態の確認

設定
確認 を押すと，設定／確認モードになり，各機能の現在の設定状態を確認できます。

つぎの操作で設定／確認モードが終了できます。

・現在の設定表示時に，もう一度 設定
確認 を押す。

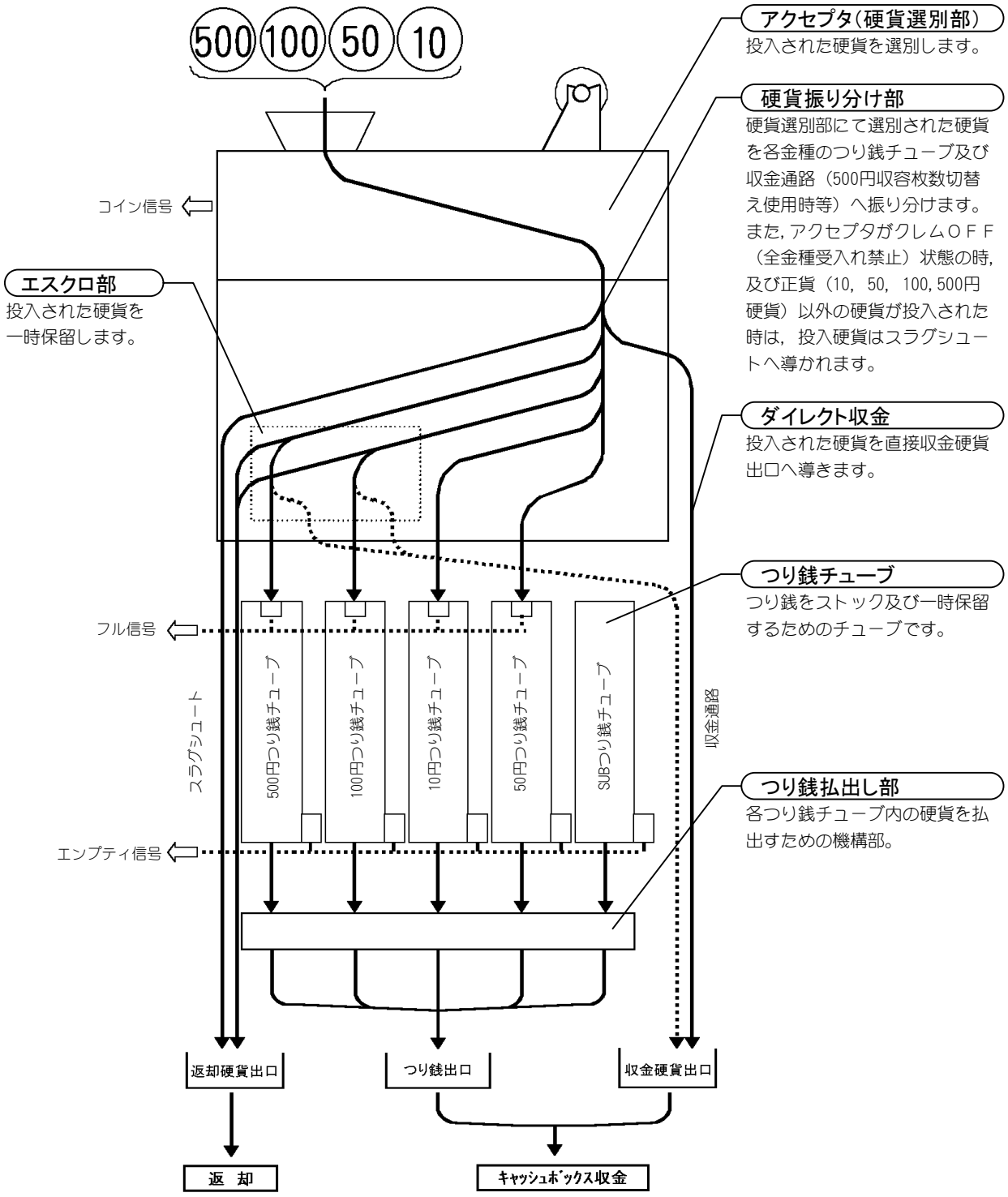
・30秒以上操作せず，放置する。

・返却レバーを操作する。

3. 各部の構造と動作

硬貨の流れ

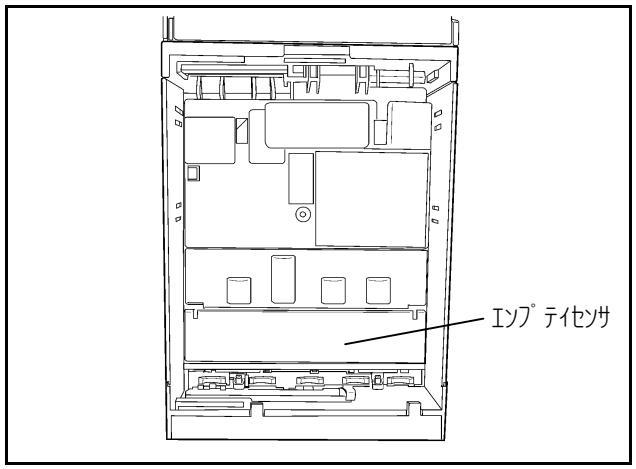
コインメカニズムは，主に４つのブロック（硬貨選別部，振分け部，つり銭チューブ部，つり銭払出し部）に分けることができます。



エンプティセンサーの動作

各つり銭チューブにはエンプティセンサーが設けられ，チューブ内の硬貨が下記枚数以下になると
つり銭切れを検知します。

１０円貨チューブ	１５枚±３枚
５０円貨チューブ	１３枚±３枚
１００円貨チューブ	１３枚±３枚
５００円貨チューブ	８枚±２枚
ＳＵＢチューブ （１０円）	１５枚±３枚
（１００円）	１３枚±３枚



■ つり銭切れが検知できないとき

つぎの状態の場合，つり銭切れは検知できません。

① 硬貨が投入されているとき
② 払出可能準備中と払出可能状態
③ エンプティスイッチに異常が発生している時（該当チューブのみ）
④ エンプティ変化禁止命令を受信しているとき

4. 動 作 条 件

クレム（CREM）制御

つぎの条件に応じ，投入硬貨の受入れが制御されます。

1. クレムOFF条件　**全金種受入れ禁止**

① 電源投入後，ＣＲＥＭ　ＯＮ命令を制御より受信するまで

② ＣＲＥＭ　ＯＦＦ命令を制御より受信した時

③ つり銭払出し中

④ インベントリー動作中

⑤ 異常発生時（ただしエンプティスイッチ異常を除く）

⑥ 返金スイッチＯＮ時

⑦ 通信が２秒以上途切れた時

⑧ ＳＹＮ信号が３０ms以上連続した時

⑨ カセットチューブ未装着時

⑩ 自動つり銭払出し中

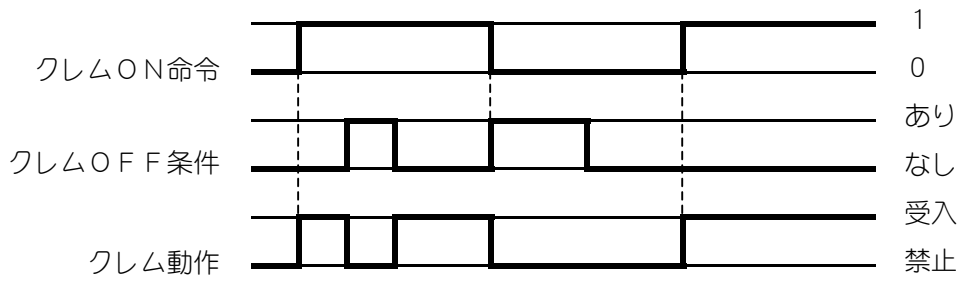
⑪ 投入硬貨により制限枚数に達した時**（該当硬貨のみ受入れ禁止）※**

※抑止機能使用時，全金種が受入れ枚数制限に達して受入禁止となっても，制御部側へ「ＣＲＥＭ　ＯＦＦ」状態を送信しません。

2. クレムON条件　**全金種受入れ可**

制御よりクレムＯＮ命令を受信し，かつ「クレムＯＦＦ条件」がないとき。

クレムＯＮ／ＯＦＦのタイミングチャート



つり銭枚数

［金種別つり銭払出し可能枚数データ］は，各つり銭チューブの状態と投入枚数によって決定されます。また，同一金種のつり銭は全て加算され，必要に応じ制御側へ送信されます。

	つり銭あり状態	つり銭なし状態
１０円貨チューブ	10枚＋投入枚数	記憶枚数＋投入枚数
５０円貨チューブ	10枚＋投入枚数	記憶枚数＋投入枚数
１００円貨チューブ	10枚＋投入枚数	記憶枚数＋投入枚数
５００円貨チューブ	６枚＋投入枚数	記憶枚数＋投入枚数
ＳＵＢチューブ　１０円	10枚	記憶枚数
ＳＵＢチューブ　１００円	10枚	記憶枚数
つり銭補助装置（FTD504J）	10枚	０枚
つり銭補助装置（FTD444J）	10枚	０枚

5. 日 常 の お 手 入 れ

日常のお手入れ

1. 清掃について

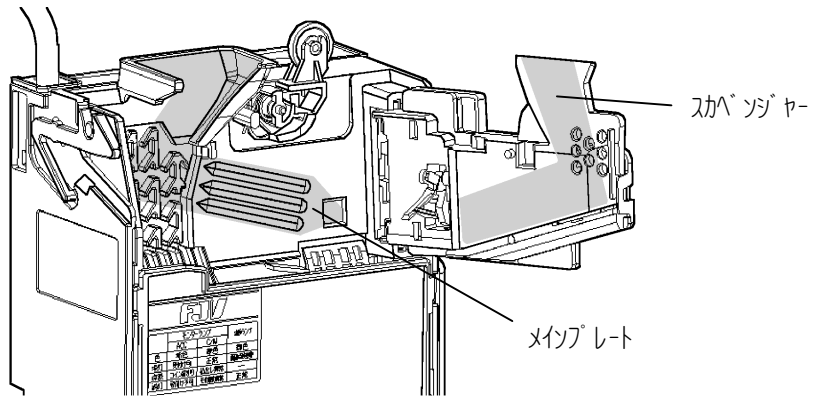
コインメカニズムは，硬貨，ほこり，水ぬれ，異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなると硬貨識別，払出性能が維持できなくなります。常に性能を維持し，長くご使用いただくために 1 か月に 1 度程度定期的に清掃してください。

※ 本コインメカニズムには「清掃時期お知らせ機能」が標準で搭載されています。
この機能は**硬貨識別精度が低下してくると**，インベントリースイッチ部の**「点検ランプ」で清掃時期をお知らせする機能**です。点検ランプが点灯していたら，清掃をしてください。**清掃後，点検スイッチを押すと，ランプは消灯します。**

2. 清掃箇所

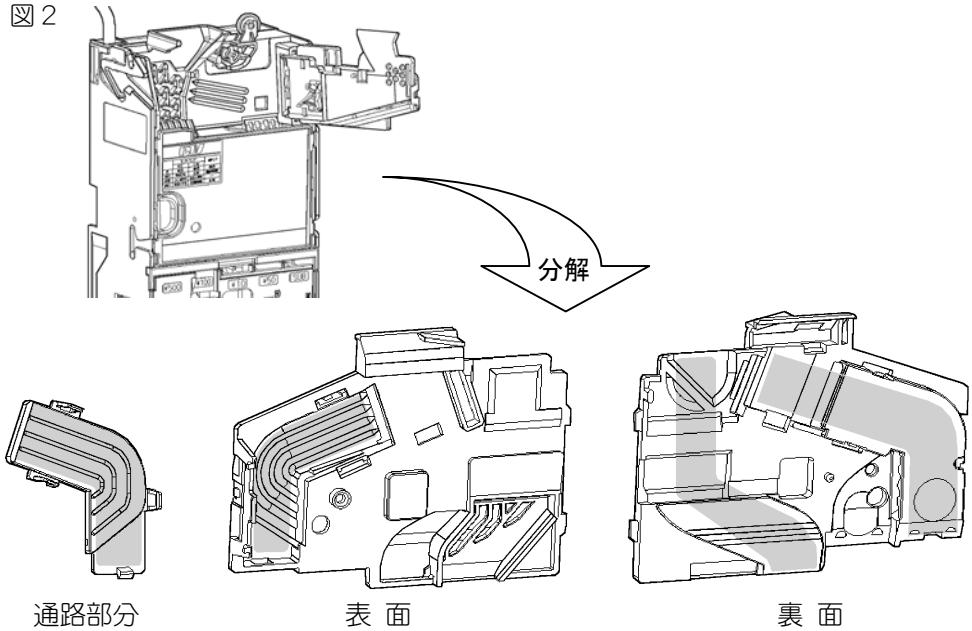
清掃時，つぎの箇所（網かけ部分）を清掃してください。
・メインプレートの硬貨通路面（図 1）
・スカベンジャーの硬貨通路面（図 1）

図 1



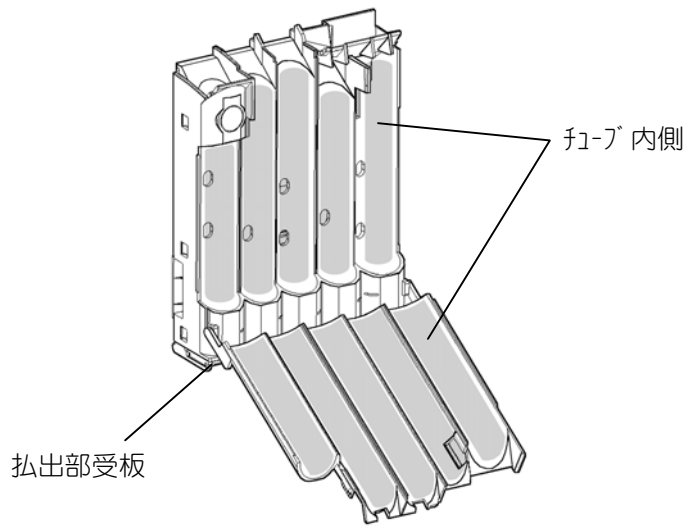
・シュートの硬貨通路面（図 2）

図 2



・つり銭チューブの内側，払出部の受板（図３）

図３



３．清掃のしかた

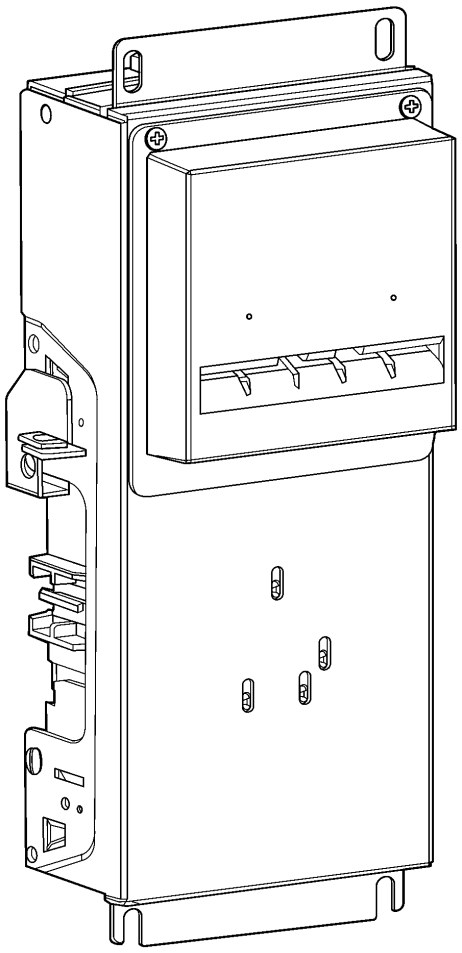
ぬるま湯で浸した布等を固く絞り，丁寧に汚れをふき取ってください。
汚れがひどい場合でもアルコールの使用は避け，薄めた中性洗剤を布等に湿らせて固く絞った状態でふき取り，最後に水拭きで仕上げてください。

清掃のときは，メインプレートについている各レバーやスプリングには十分注意してください。

技術マニュアル

富士電機紙幣識別装置

形 式　BVJシリーズ



MB02－021a

富士電機リテイルシステムズ株式会社

製造国　日本

もくじ

１章 概要
概要 …… 1
形式 …… 2

２章 製品の仕様
本体仕様 …… 3
各部の名称 …… 4

３章 外形寸法 …… 5

４章 動作概要
動作 …… 6
受入れ禁止条件 …… 7
ランプ表示 …… 7
予防保全機能 …… 8
抑止機能 …… 9
各種設定のしかた …… 10

５章 取り扱い
スタッカ内の紙幣の回収方法 …… 11
点検・清掃の方法 …… 12
使用上の注意事項 …… 14
取扱紙幣の条件 …… 14
紙幣受入れ率 …… 15

６章 分解・組立手順
各ユニットの分解手順 …… 16
各ユニットの組立手順 …… 18

６章 接続端子の信号条件
構成図 …… 19
交信方式仕様 …… 19
端子条件 …… 19

７章 異常時の復帰方法 …… 20

８章 お願い …… 21

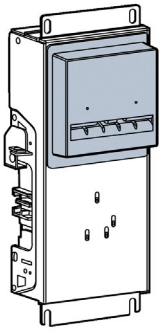
1．概　　要

概要

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
お求めの弊社製品を正しく使っていただくために，ご使用前に本書をよくお読みください。
弊社製品の正しい商品知識と取扱により末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。
なお本書は，お読みになったあと大切に保管してください。

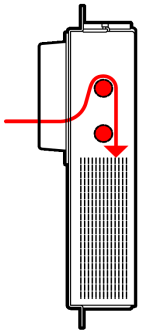
特長

1　シンプルな構造



スナップフィット構造
（工具不要）

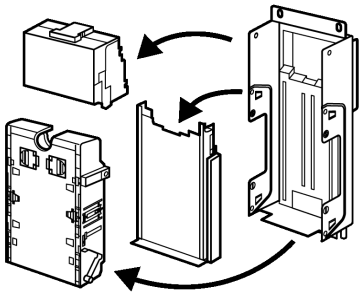
3　ローラ搬送方式の採用



ローラ搬送による搬送方式を採用し，従来のベルト方式より安定搬送・長寿命化を実現。

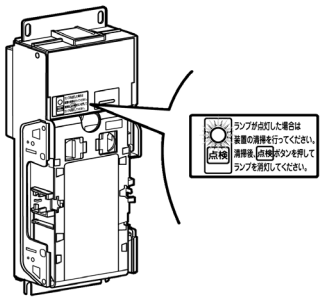
2　ユニット構造

識別ユニット･スタッカユニット･プッシャユニット･筐体の４つのユニットに容易に分離可能。



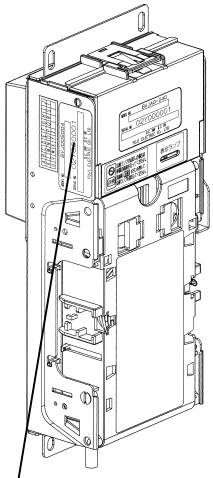
4　予防保全機能

清掃ランプ・点検スイッチによる予防保全機能。



形式

１．本体形式

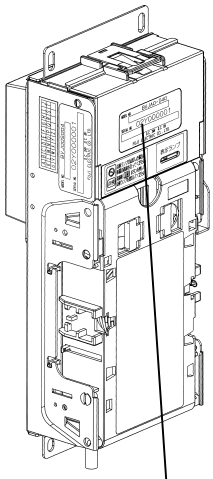


本体形式銘板

ＢＶＪ	１	１	Ｓ	Ｐ	Ｆ	Ｄ	４	□

- □：追番
- ４：ガイド口厚さ
  - ２：２２㎜（富士標準）
  - ３：５０㎜
  - ４：２２㎜
- Ｄ：取付け区分
  - 無：正取付け
  - Ｄ：逆取付け
- Ｆ：フラッパー
  - 無：フラッパー無
  - Ｆ：フラッパー有
- Ｐ：鍵金具区分
  - 無：鍵金具無
  - Ｐ：鍵金具有
- Ｓ：シリアル通信
- １：収納枚数
  - １：１００枚
  - ２：２００枚
  - ３：３００枚
- １：受入紙幣
  - １：１０００円
  - ２：２０００円
- ＢＶＪ：シリーズ

２．識別部形式



識別部形式銘板

ＢＶＪ	Ａ	１	－	Ｄ	４	□	□

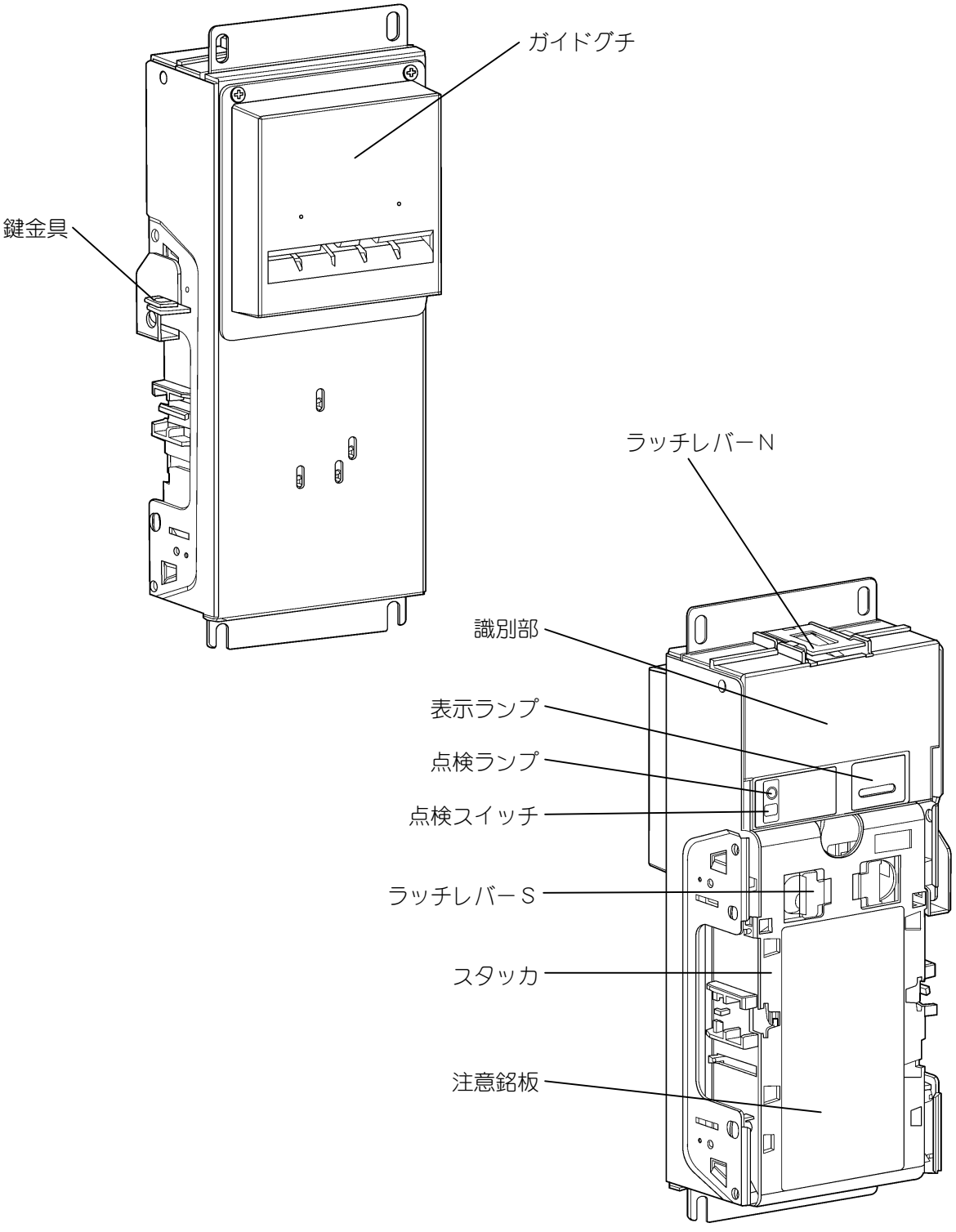
- □：版数
- □：追番
- ４：ガイド口厚さ
  - ２：２２㎜（富士標準）
  - ３：５０㎜
  - ４：２２㎜
- Ｄ：取付け区分
  - 無：正取付け
  - Ｄ：逆取付け
- １：受入紙幣
  - １：１０００円
  - ２：２０００円
- Ａ：識別ユニット
- ＢＶＪ：本体形式

２．製品の仕様

本体仕様

形　　式	ＢＶＪ１１／ＢＶＪ２１	
紙幣挿入口	１ヵ所	
紙幣挿入方向	長手方向	
識別紙幣	１０００円紙幣（BVJ11ｼﾘｰｽﾞ），１０００円紙幣・２０００円紙幣（BVJ21ｼﾘｰｽﾞ）	
電源電圧	ＤＣ２４Ｖ±１０％，ＤＣ８Ｖ±５％	
消費電力	識別時平均２０ＶＡ以下，待機状態２ＶＡ以下	
真紙幣の受付率	９０％以上	
識別時間	平均１．４秒以下	
周囲環境	温度：－１５℃～６０℃，湿度３０～９０％ＲＨ（結露なきこと）	
質　　量	約０．９Ｋｇ	
外形寸法	Ｈ ２６０ × Ｗ ９９９ × Ｄ ５２	
外装仕様	亜鉛メッキ	
構　　造	プラスチック構造，一部鉄板型（本体フレーム） 本体ユニット，識別ユニット，スタッカユニット，プッシャユニットの４ユニットに分離可能	
形状及び寸法判定	有り	
図形チェック面	表裏２面（磁気・光）	
厚み検知	有り	
モニター機能	通信中表示（赤色），動作中表示（緑色），故障表示（黄色），点検ランプ（緑色）	
受入可能表示機能	有り（ガイドグチ，緑色ＬＥＤ×２個）	
エスクロ機能	①エスクロ方式	ローラによる現物エスクロ
	②エスクロ枚数	最大１枚（１０００円あるいは２０００円）
	③返却時間	１．４秒（標準）
スタッカ機能	①紙幣収納方式	整列積（１０００円，２０００円混合スタック）
	②紙幣収納枚数	再鑑券で１００，２００，３００枚以上 （スタッカによって異なる）
	③紙幣取出方式	一括取出し（スタッカ取外し可）
	④紙幣満杯検知	満杯スイッチ
搬送方式	ＤＣモータによる自動搬送	
抑止機能	有り（自動精度アップモード）	

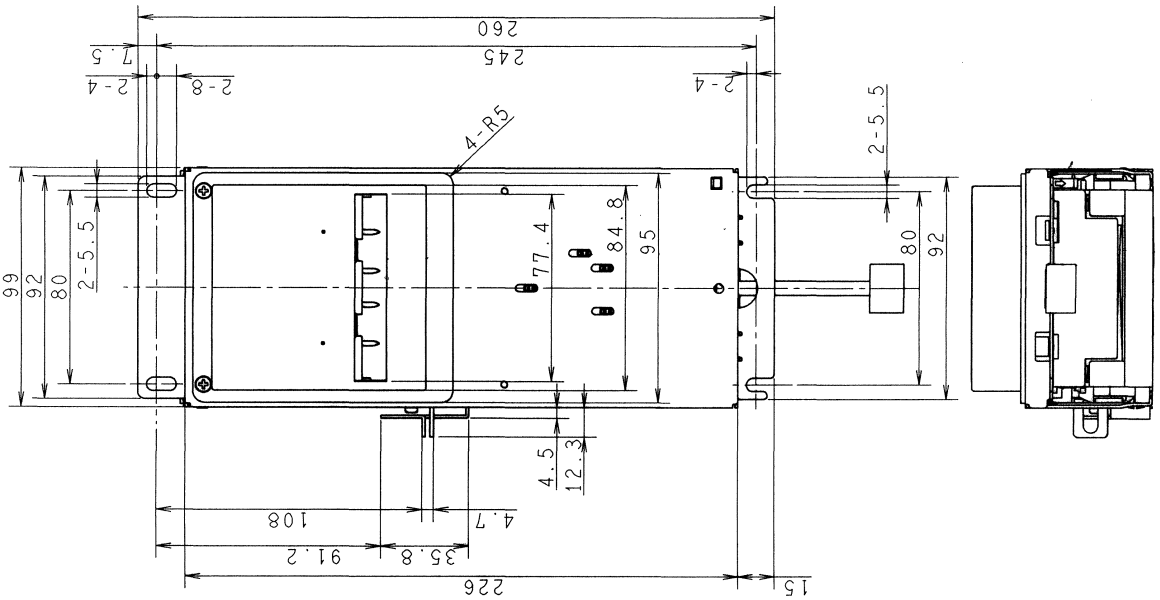
各部の名称

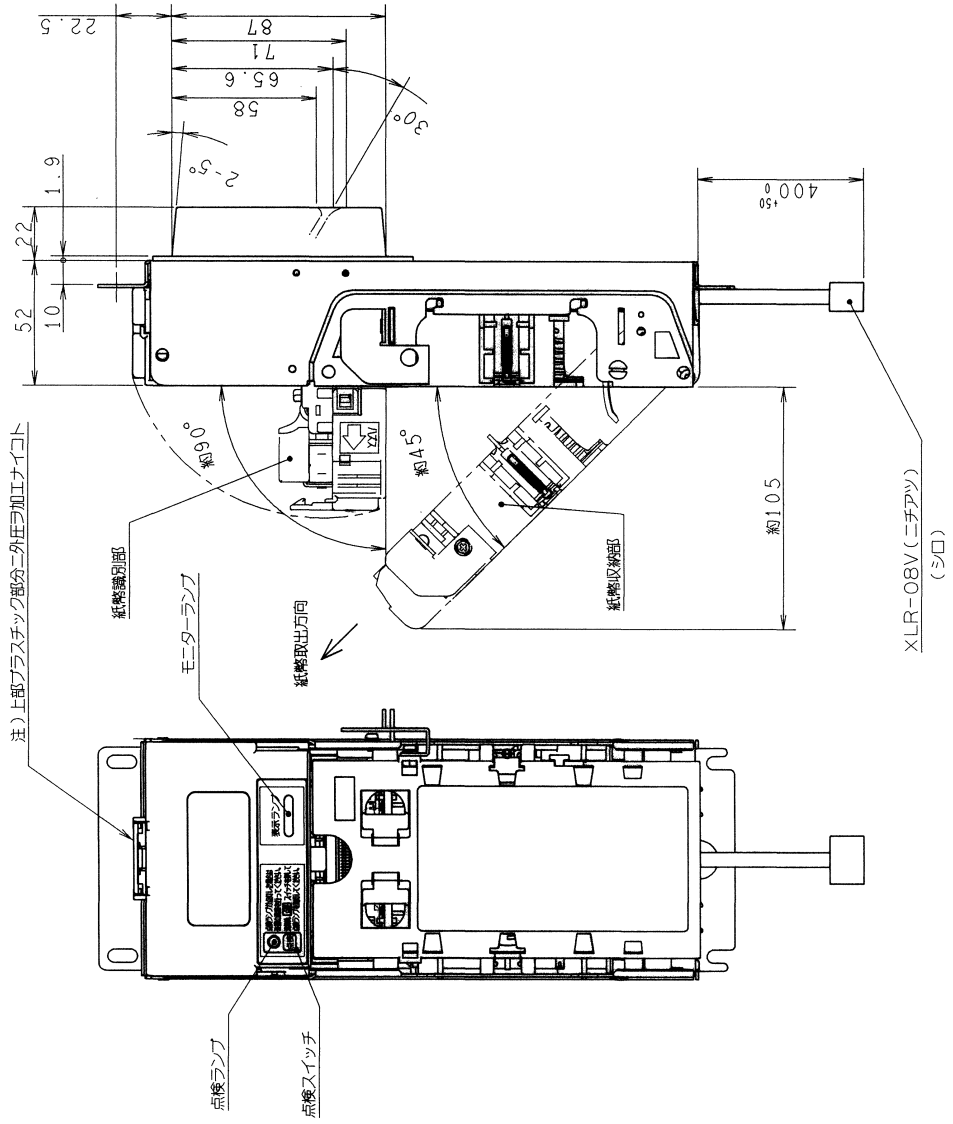


- 挿入された紙幣を検知し，モータ駆動にて自動搬送します。
- 識別部には，マイコン，モータ，ローラ，センサ等が組込まれており，搬送時紙幣の識別要素を自動検出します。
- 電源 ＤＣ２４Ｖ，ＤＣ８Ｖで動作可能です。

3. 外 形 寸 法

形式　ＢＶＪ１１ＳＰ４／ＢＶＪ２１ＳＰ４



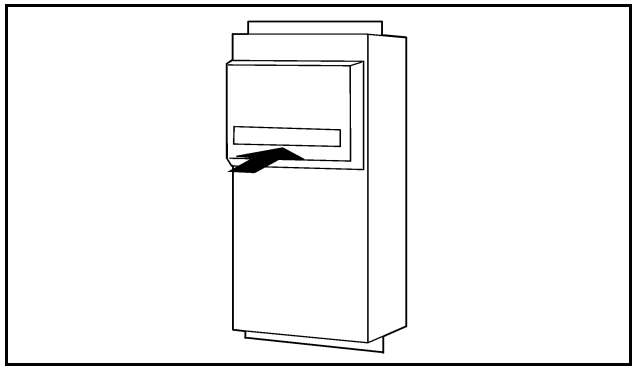


4. 動 作 概 要

動作

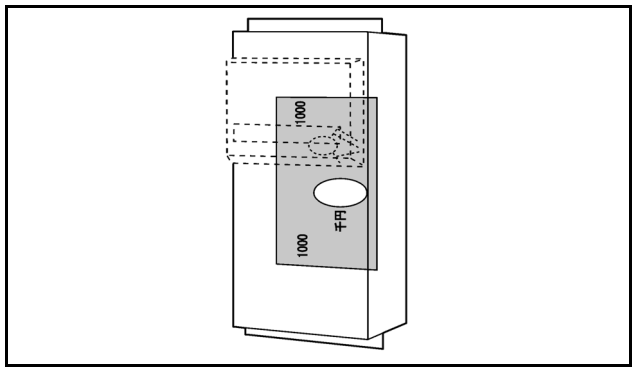
1. 紙幣受入れ

紙幣を挿入口に挿入すると内部モータが回転し，紙幣は矢印の方向に自動搬送されます。



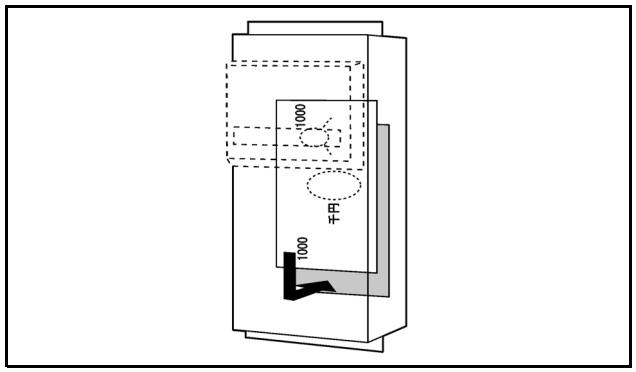
2. エスクロ

真券（1，０００円）と判断されると，紙幣はエスクロ部でエスクロ（一時保留）されます。

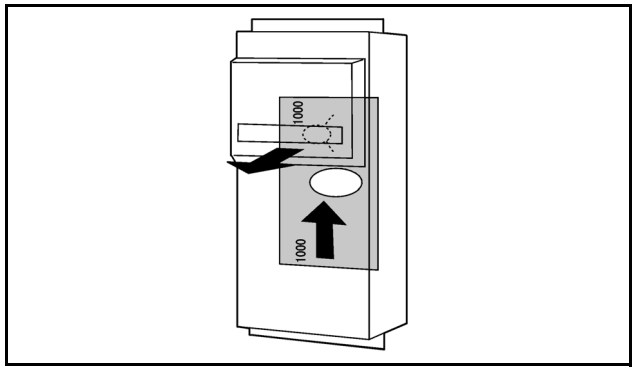


3. 収納及び返却

収金指令が入力されるとエスクロされた紙幣はスタッカ部に収納されます。



返金指令が入力されると，エスクロされた紙幣は挿入口まで返却されます。



受入れ禁止条件

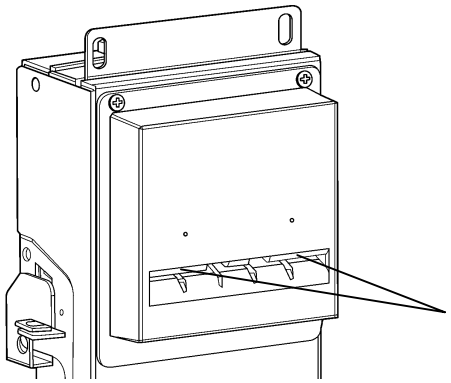
1. 紙幣受入れ禁止条件

以下の状態時は，一切紙幣を受入れません。

(1)	電源遮断時
(2)	ビルバリ受入れ信号が入力されていない時
(3)	１，０００円，２，０００円受入信号が入力されていない時
(4)	エスクロ時
(5)	収納部の満杯を検知した時
(6)	ビルバリ異常信号を送出している時
(7)	主制御部との通信が途絶えている時
(8)	スタッカ部の裏蓋が開いている時

ランプ表示

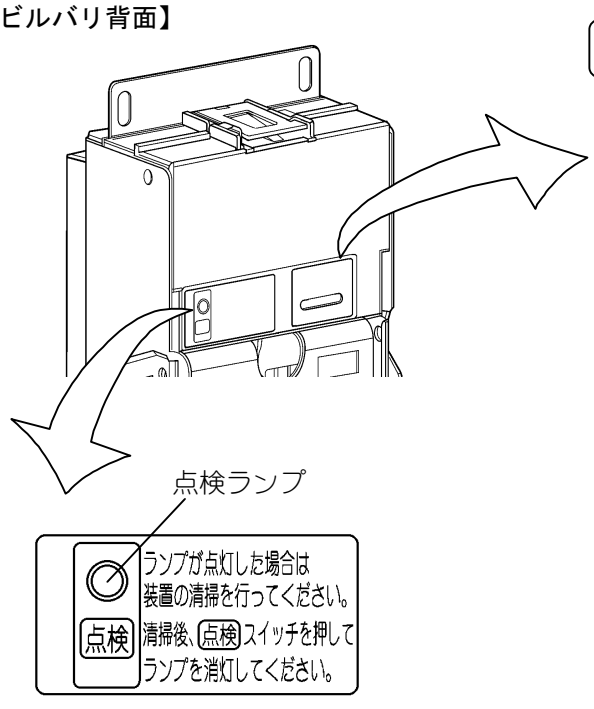
【ビルバリ正面】



ガイドグチ表示ランプ

点灯	待機時
消灯	主制御部より受入可信号が入力されていないときまたは、異常状態の時

【ビルバリ背面】



通信ランプ（赤）

点滅	主制御部と通信している時
消灯	主制御部との通信が途絶えている時

動作中ランプ（緑）

点灯	動作中の時
点滅	抑止機能作動時
消灯	上記以外の時

故障ランプ（黄）

点灯	ビルバリに異常がある時 ※
消灯	ビルバリに異常がない時

※ 異常発生時の復帰方法は「７．異常時の復帰方法」を参照してください。

点検ランプ

点灯	清掃時期を通知（紙幣受入れ率低下時）
消灯	通常運用時

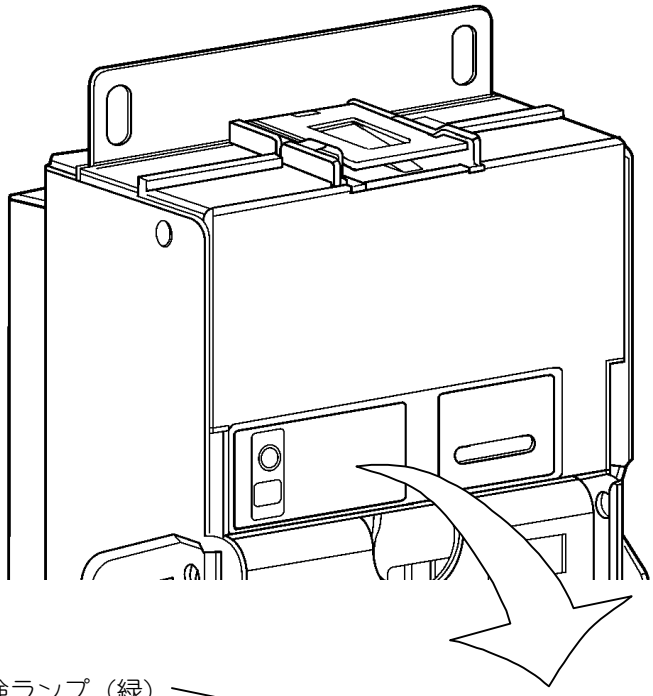
予防保全機能

1. 予防保全機能

“予防保全機能”とは，ビルバリ背面のランプ（点検ランプ）の点灯で，清掃時期をお知らせする機能です。
識別センサの汚れ等により，紙幣の受入れ率が低下してくると点検ランプ（緑色）が点灯します。
点検ランプが点灯したら，ビルバリの清掃を行ってください。

2. 点検ボタン

清掃後，点検スイッチを 1 秒以上押すとランプが消灯します。

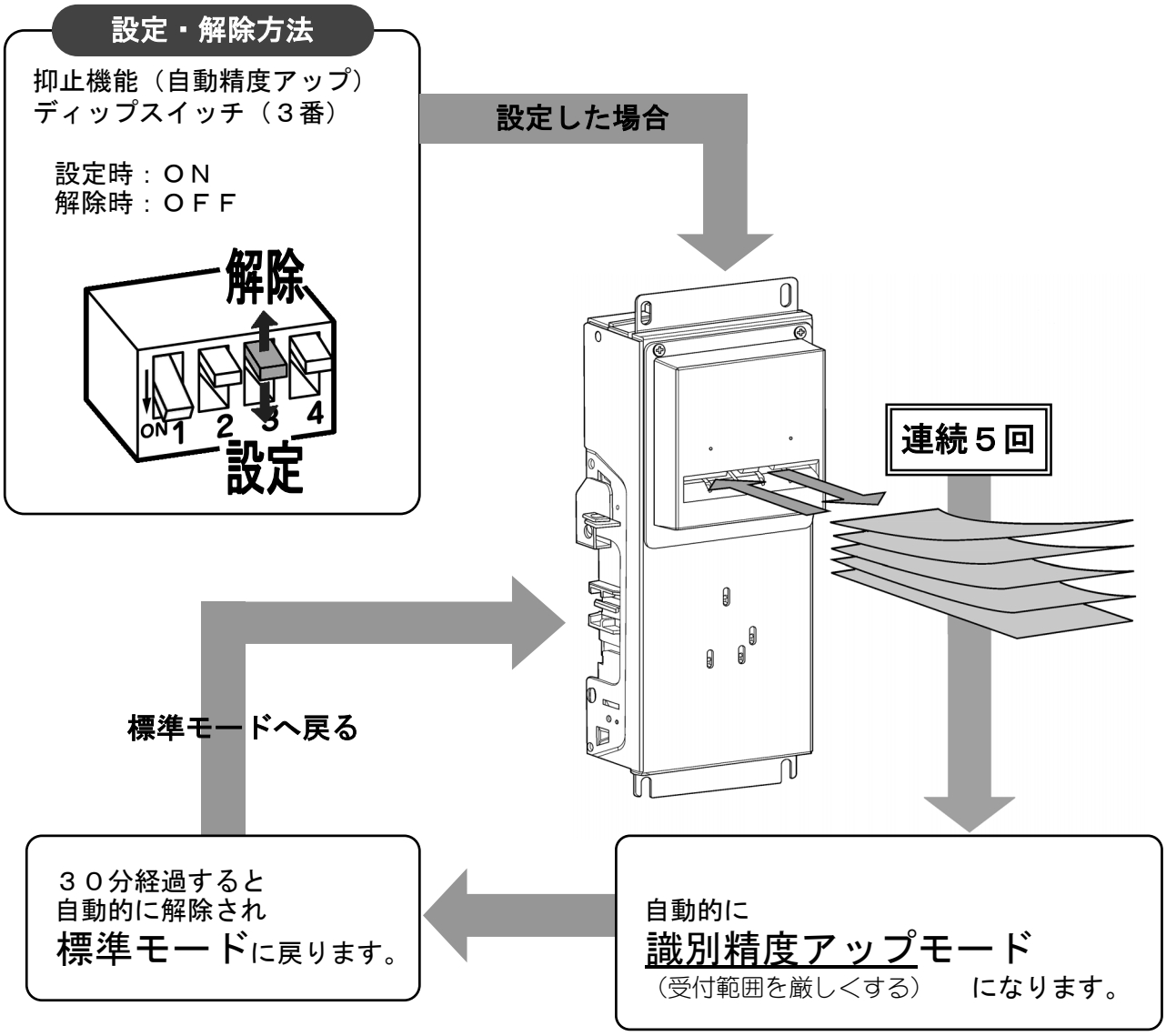


点検ランプ（緑）
消灯：通常運用時
点灯：清掃時期通知
※紙幣受入れ率低下時に点灯

点検スイッチ
点検ランプを消灯させたい時に
使用します（1 秒以上押す）。
清掃後に押してください。

抑止機能

“抑止機能”とは，自動的に紙幣の識別精度をアップする機能です。真券でないものが連続して５回投入，排除された場合，自動的に識別精度アップ（受付範囲を厳しくする）モードになります。
３０分経過しますと自動的に解除され，標準モード（通常精度）に戻ります。



● 設定条件

① 設定は識別精度切替スイッチ 1 の設定が標準モードの場合，有効となります。
（精度アップモード時は，精度アップのままとなります。）

② 自動精度アップ時は，動作中表示ランプ（緑）が点灯から点滅へと変わります。

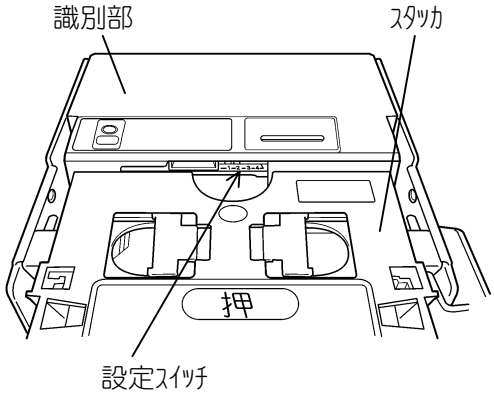
[！] **抑止機能が働いている状態（識別精度アップしている状態）で，強制的に機能を停止したいときは抑止機能スイッチ 3 を一度ＯＦＦに設定してください。**

各種設定のしかた

紙幣の識別精度設定，２０００円紙幣の受付可否設定，抑止機能設定，受入札の切替えの設定を行なう場合は，次の方法で実施してください。

１．設定スイッチの位置

設定スイッチの識別部の下面（右図）にあります。



２．設定のしかた

(1) 識別精度切替設定

スイッチ 1 にて行ないます。

ＯＮ 側：通常精度（標準モード）
ＯＦＦ側：高精度（精度アップモード）
※ 受付範囲を厳しくする。

(2) ２０００円受付禁止設定(BVJ2ｼﾘｰｽﾞのみ)

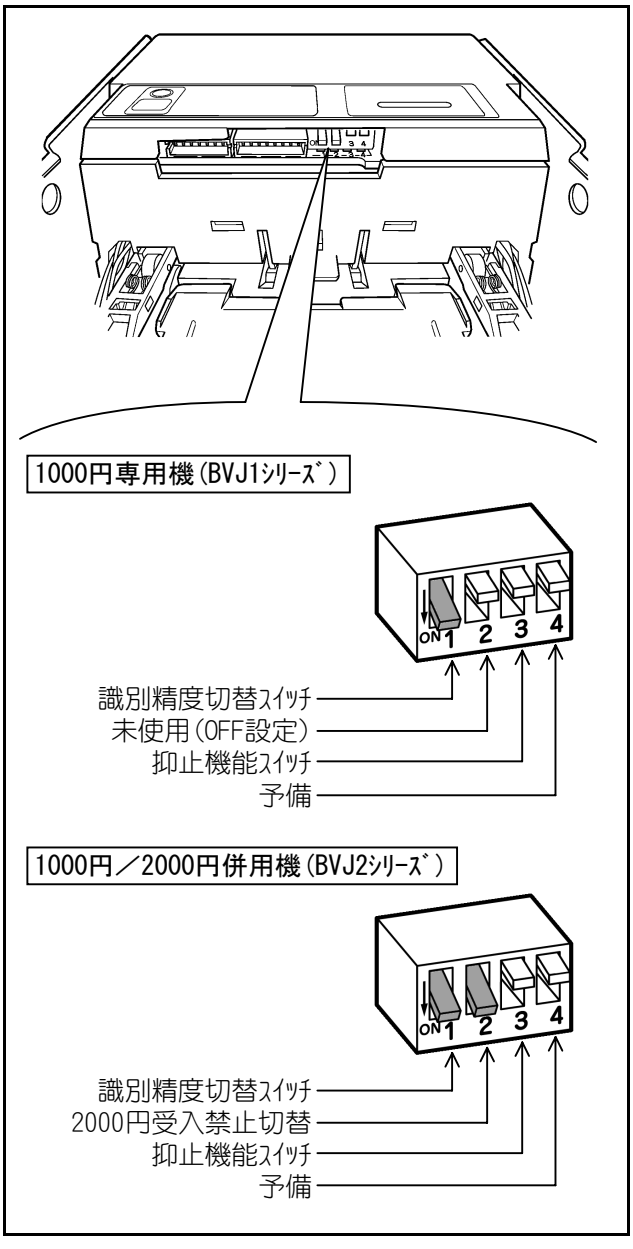
スイッチ 2 にて行ないます。

ＯＮ 側：２０００円受付可能
ＯＦＦ側：２０００円受付不可

(3) 抑止機能設定

スイッチ 3 にて行ないます。

ＯＮ 側：自動精度アップ設定
ＯＦＦ側：自動精度アップ解除



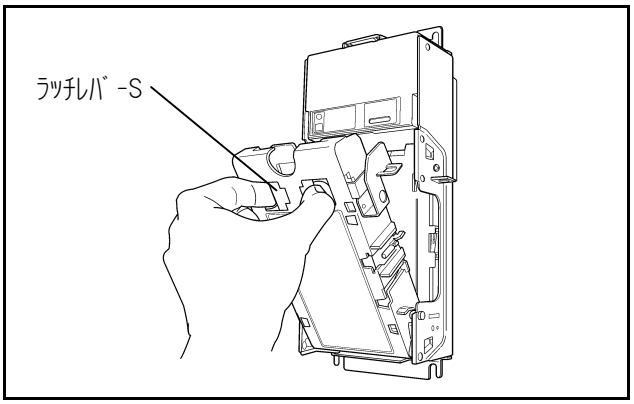
３．設定スイッチの説明

スイッチの切替え位置は，上にすると「ＯＦＦ」下にすると「ＯＮ」になります。

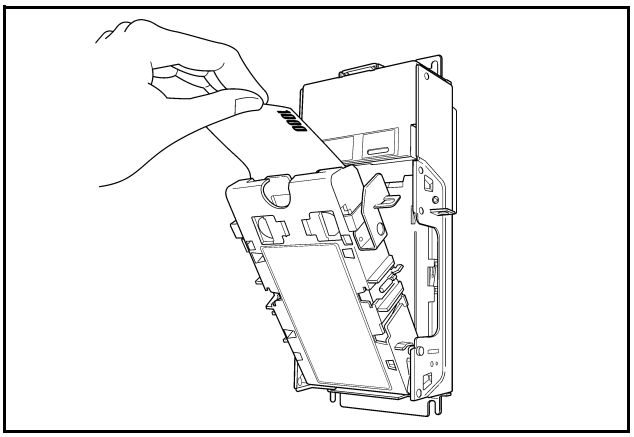
５．取り扱い

スタッカ内の紙幣の回収方法

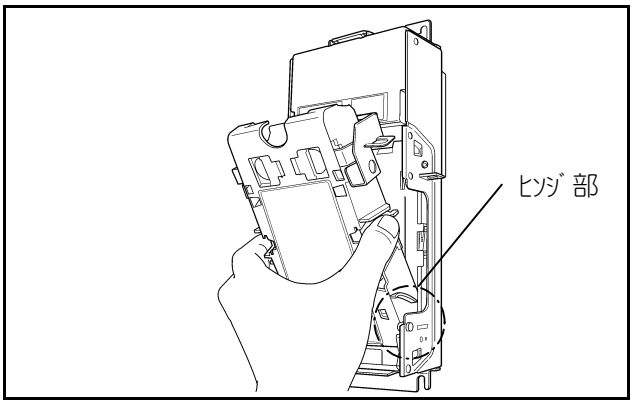
① ラッチレバーＳを指でつかみながらスタッカを手前に引き出します。



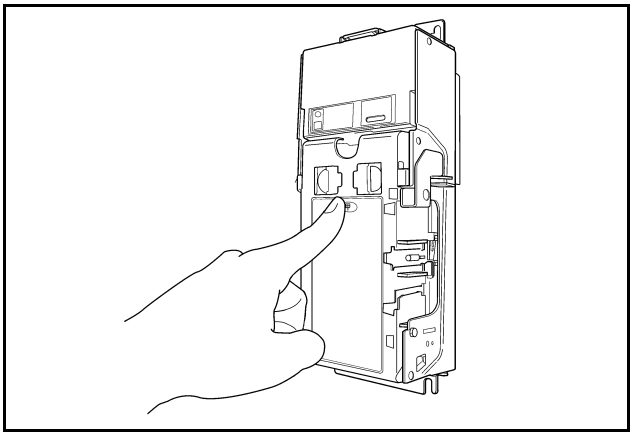
② 開ききった状態にし，スタッカ内の紙幣を取出してください。



③ スタッカを取外して紙幣を回収することもできます。
スタッカを取外す時は，スタッカの両端をつかみ，上に引き上げるようにして行なってください。
スタッカ本体に戻す時は，取外す時と逆の要領で下に押し込むようにして行なってください。
スタッカのヒンジ部がきちんと本体にはまっていることを確認してください。



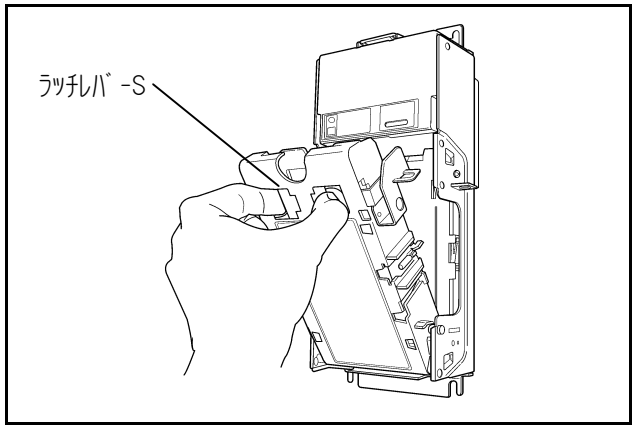
④ スタッカの背（「押」の表示がある所）を『カチッ』と音がし，ラッチＮがかかるまで押してください。



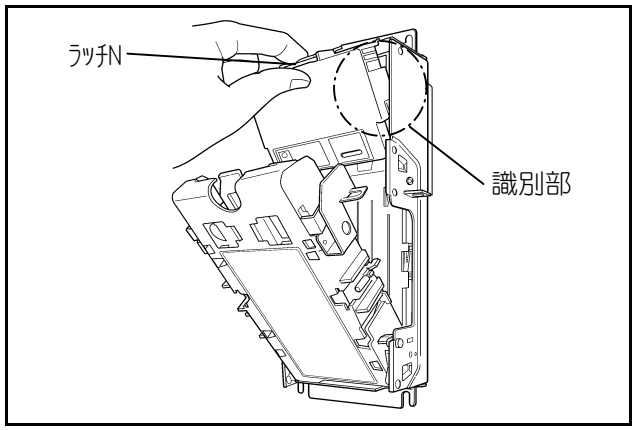
[！] セットが不十分だと紙幣を受入れません。

点検・清掃の方法

① ラッチレバーＳを指でつかみながらスタッカを手前に引き出します。

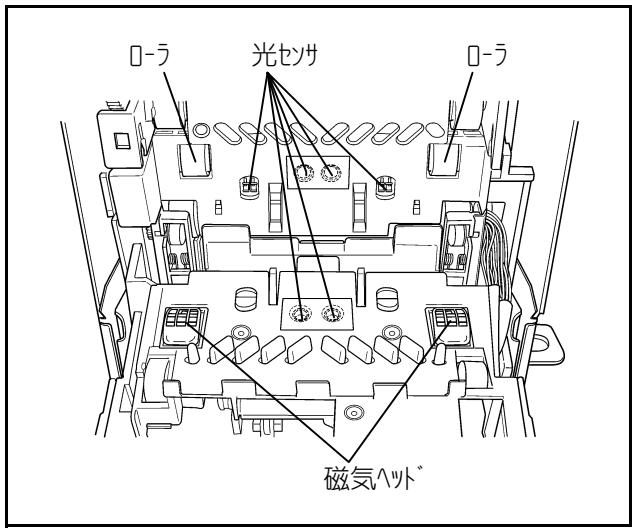


② ラッチＮを下方向に押しながら識別部を手前に倒します。

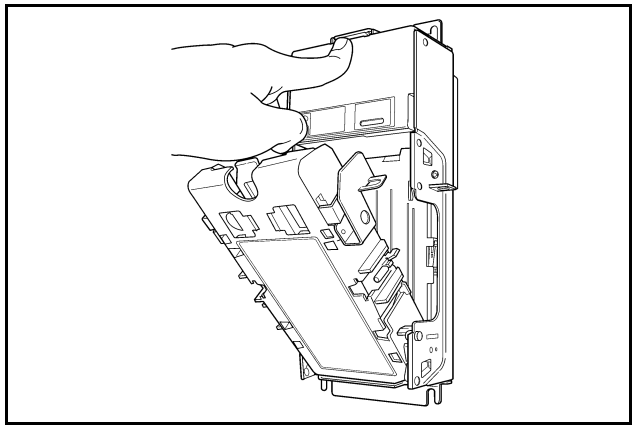


③ 磁気ヘッド，光センサ，ローラ類の清掃を行ないます。

[！] **磁気ヘッド，光センサ，ローラ類に札垢，磁粉等が付着しますと，紙幣の受入れ率が低下しますので，ぬるま湯を含ませた布・綿棒等を固く絞った状態で拭き取ってください。汚れがひどい場合でも，アルコールの使用は避け，薄めた中性洗剤を布等に湿らせて固く絞った状態でふき取り，最後に水拭きで仕上げてください。**

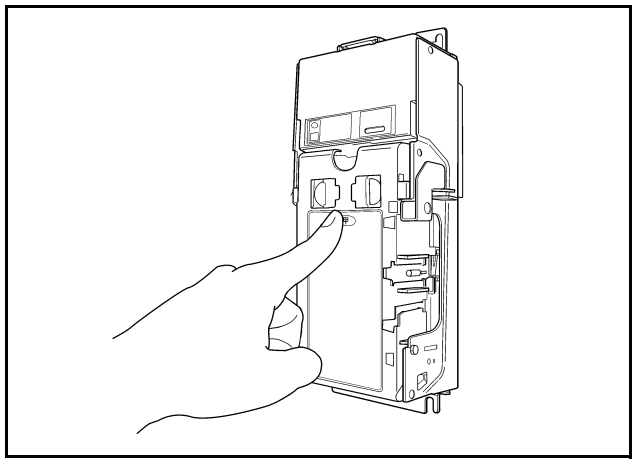


④ 識別部の背を『カチッ』と音がし，ラッチＮがかかるまで押してください。



［！］ セットが不十分だと紙幣を受入れません。

⑤ スタッカの背（「押」の表示がある所）を『カチッ』と音がし，ラッチレバーＳがかかるまで押してください。



［！］ セットが不十分だと紙幣を受入れません。

使用上の注意事項

1. 使用環境

電源状況 製品劣化・紙幣取込・停止等の異常発生の原因になりますのでご注意ください	規定電源状態内で使用してください。 特に電源電圧については最高最低電圧を把握し，規定値（ＤＣ２４Ｖ±１０%，ＤＣ８Ｖ±５%）に入るようにしてください。
使用温度	識別部の周囲温度として，－１５℃～＋６０℃以内で使用してください。
使用湿度	湿度３０～９０%ＲＨ以下で使用してください。（結露なきこと） 直射日光等により周囲温度が急激に変化し，湿度が上昇した場合，紙幣の受入れ率が低下を起こす場合があります。
粉塵	粉塵等の多い場所で使用する場合に受入れ率低下を起こすこともありますので清掃してください。
紙幣受入れ	真券でも汚れ，破損など真券として受入れない場合がありますので，最終ユーザーに徹底してください。

2. 再現性の少ない異常等

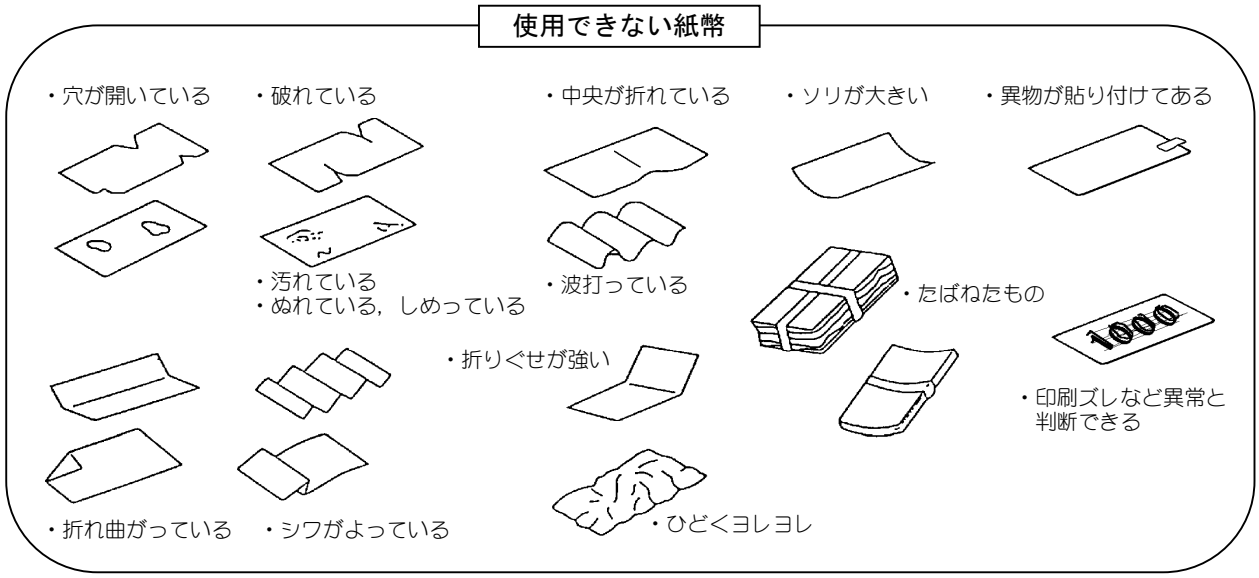
再現性の少ない異常あるいは所定の性能を発揮しないと思われる場合は，その現象・使用状況・紙幣等原因究明に必要な事項につき調査してください。

3. 定期点検

所定の性能を劣化させることなく，また，長く性能を保たせるため，定期的に保守点検をお願いします。
（数回／年，『点検・清掃の方法』を参考に行なってください。ただし，使用状態によって頻度は変わります。）

取扱紙幣の条件

下記に示す状態の紙幣は，取り扱い上ビルバリに挿入することを避けてください。



紙幣受入れ率

１. 紙幣受入れ率の定義

紙幣受入れ率は，受入れ総枚数と総挿入枚数の比率を％で表したものです。

$$紙幣受入れ率（\%）＝ \frac{受入れ総枚数}{総挿入枚数} \times １００$$

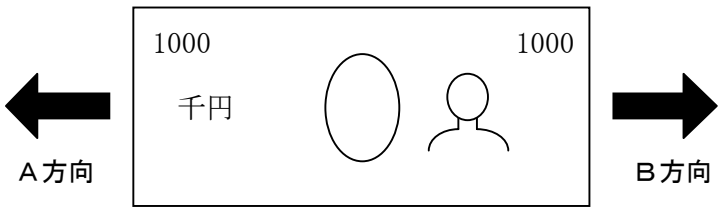
① 受入れ総枚数は，テスト紙幣を１回目の挿入で受入れた枚数の合計で，原則として２回目の挿入で受入れても枚数に加算されません。
② 総挿入枚数は，５０枚以上とします。
③ 受入れ枚数と真券信号の発生が一致することを確認してください。

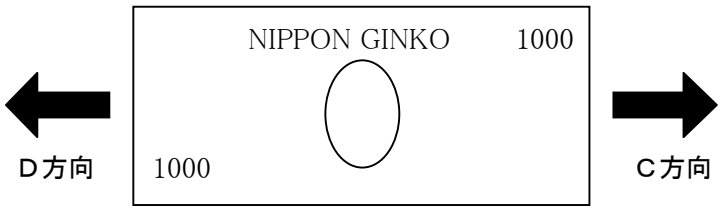
２. 紙幣挿入方向の定義

①	Ａ方向：表面を上にして「千円」の文字を先に挿入する方向
②	Ｂ方向：表面を上にして人物像を先に挿入する方向
③	Ｃ方向：裏面を上にして表面の「千円」の文字を先に挿入する方向
④	Ｄ方向：裏面を上にして表面の人物像を先に挿入する方向

３. 紙幣受入れ率規格

Ａ方向，Ｂ方向，Ｃ方向，Ｄ方向共９０％以上



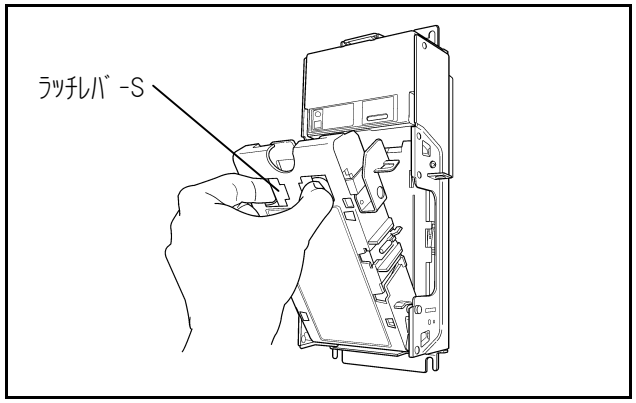


６．分解・組立手順

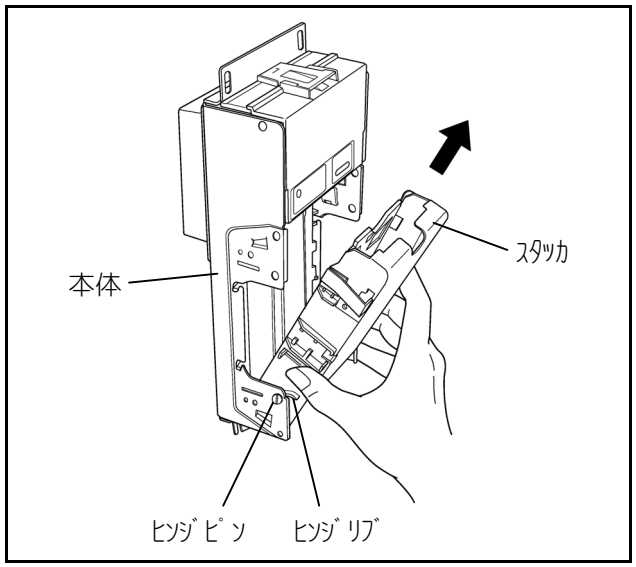
本紙幣識別装置は，識別ユニット・スタッカユニット・プッシャユニット・本体の４つのユニットに容易に分離することが可能です。
分解・組立手順は次の方法で実施してください。

各ユニットの分解手順

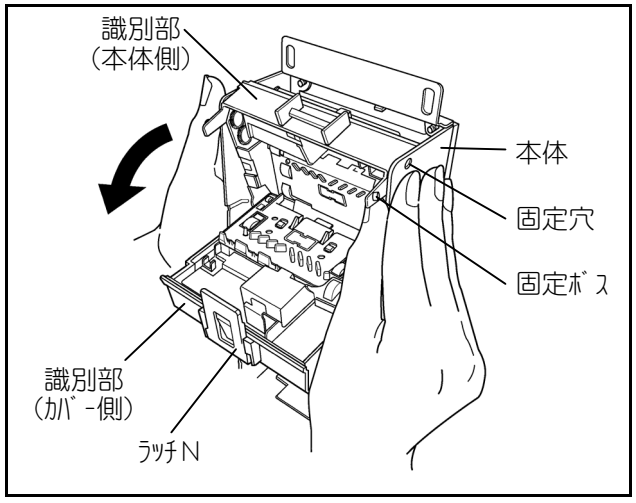
① ラッチレバーＳを指でつかみながらスタッカを手前に引き出します。



② スタッカを斜め上に持ち上げながらヒンジピンとの引っ掛けを外し，本体より引き抜きます。

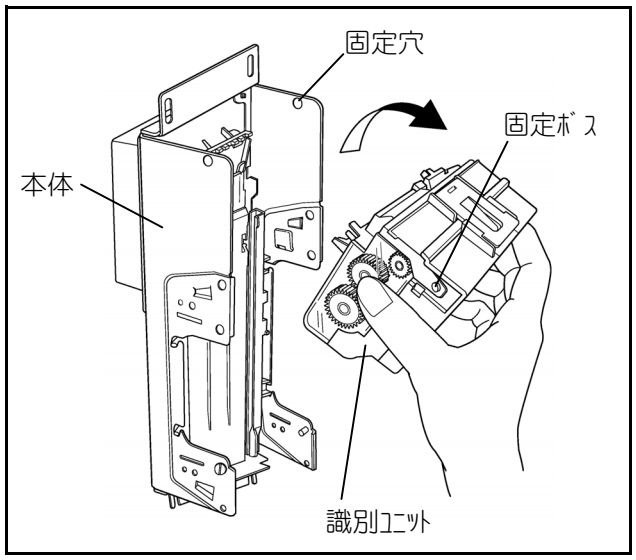


③ ラッチＮを下方向に押して，ラッチＮを外し，識別部（カバー側）を手前に倒します。
識別部（本体側）の固定ボスを指先で内側に押しながら本体の固定穴より外します。

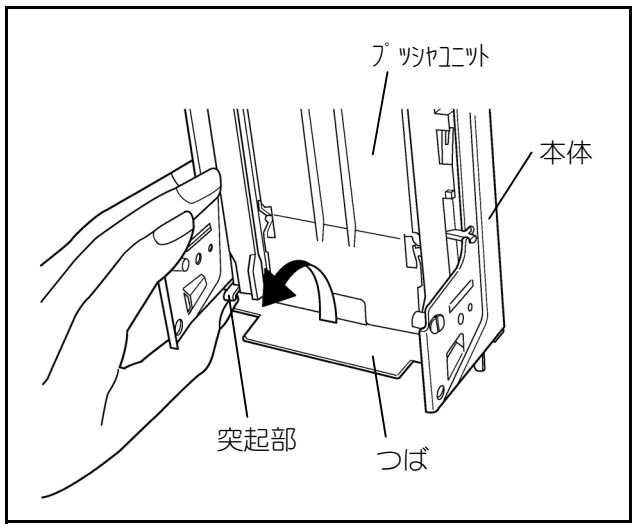


各ユニットの分解手順

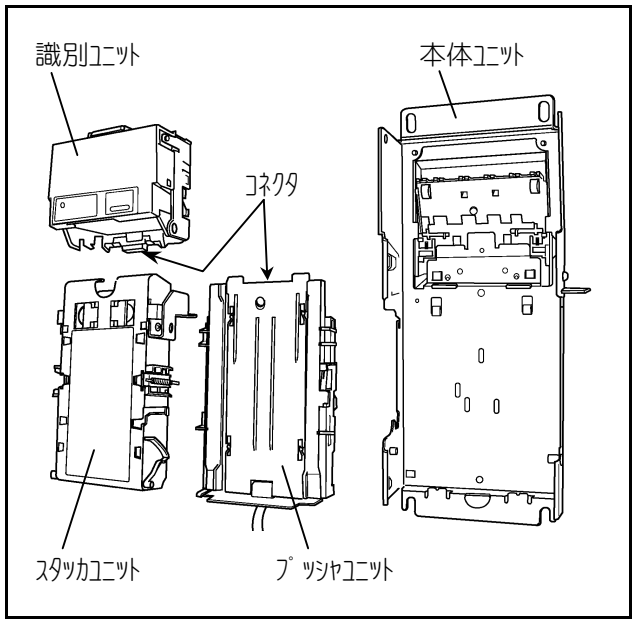
④ 識別ユニットを上に持ち上げながら，本体より抜き取ります。



⑤ プッシャユニットの下部にある突起部を指で上に押しながら手前に持ち上げると，本体との引っ掛けが外れ，プッシャユニットが取り出せます。



⑥ 各ユニットが右図のように分離することが出来ます。



各ユニットの組立手順

組立手順は，分解の逆手順にて実施してください。

● 組立の要領と注意事項

① プッシャユニット取付

プッシャユニットを本体にはめ込み，下部のつばを下に引くと「カチッ」と音がして固定できます。

② 識別ユニット取付

識別ユニットを本体に取り付ける場合は，識別部カバーを開いた状態で識別ユニットを上側から差し込み，押し下げると容易に固定穴に固定ボスが差し込まれます。

[！] **識別ユニット下面がコネクタ接続構造のため必ずユニットを上から差し込んで，本体固定してください。**
識別ユニットはプッシャユニットが取り付けられていないと，取付できません。

③ スタッカユニット

スタッカ下部を本体の奥側に差し込み，ヒンジ部のリブがピンより奥になる様に差し込んでください。

７．接続端子の信号条件

構成図

※ 交信用ＧＮＤとビルバリのフレームＧＮＤ（ＦＧ）とは絶縁する。

交信方式仕様

項　　目	方　　式
伝送方式	直列伝送
速　　度	４８００ＢＰＳ
信号条件	ＤＣ２４Ｖ
同期方式	調歩同期式
絶縁方式	非絶縁

端子条件

１．インターフェース

〔使用コネクタ：ＸＬＲ－０８Ｖ（日圧）〕

ｺﾈｸﾀ端子No.	記号 ※１	極性 ※２	ｉ／Ｏ ※３	内容
1	＋２４Ｖ	－	i	電源 ※４
2	＋８Ｖ	－	i	電源 ※４
3	－	－	－	－
4	（ＳＹＮ信号）	Ｌ	i	コマンド同期信号
5	（ＯＵＴ信号）	Ｌ	i	受信データ入力
6	（ＩＮ信号）	Ｌ	O	送信データ出力
7	－	－	－	－
8	０Ｖ	－	i	電源

※１ 記号欄のカッコ名称は，主制御部より見た名称です。
※２ 極性“Ｌ”：Ａｃｔｉｖｅ Ｌｏｗ
※３ ｉ／Ｏはビルバリより見た状態を示します。
※４ 電源電圧許容範囲　　ＤＣ２４Ｖ±１０％
　　ＤＣ８Ｖ±５％

● 定格消費電流

	ＤＣ２４Ｖ	ＤＣ８Ｖ
待機時	０．１Ａ以下	０．３５Ａ以下
動作時　※１	０．４Ａ以下	０．３５Ａ以下
ピーク時 ※２	１．２Ａ以下	０．３５Ａ以下

※１ 搬送モータ等動作時
※２ 最大５ｓ

8．異常時の復帰方法

1．故障要因

下記異常を検知した場合，ビルバリ本体背面の故障ランプを点灯，あるいは通信ランプを消灯させ，異常を通知します。

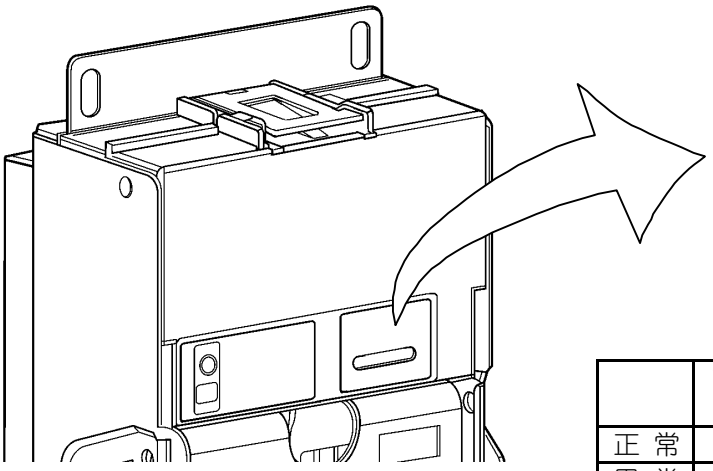
異常内容	ランプ表示	発　生　要　因
札詰まり※	故障ランプ点灯	紙幣の詰りが検知された状態
紙幣払出し異常	故障ランプ点灯	紙幣の払出し動作が異常な状態
紙幣金庫満杯※	故障ランプ点灯	紙幣金庫の満杯を検知した状態
スタッカ異常	故障ランプ点灯	スタッカの異常を検知した状態
識別部異常※	故障ランプ点灯	紙幣識別部の異常を検知した状態
通信異常	通信ランプ消灯	主制御部と正常な交信がされていない状態

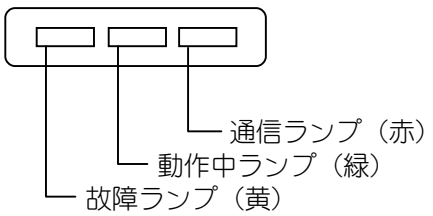
※異常発生後，自動復帰する場合があります。

2．故障時の復帰方法

異常内容	復　帰　方　法
札詰まり	識別部に詰まっている紙幣を取り除く。
紙幣払出し異常	スタッカ部，識別部を開き，払出されなかった紙幣を取り除く。
紙幣金庫満杯	スタッカ部を開き，収納されている紙幣を取り出す。
スタッカ異常	電源再投入。
識別部異常	スタッカ部を開き識別部に詰まっている紙幣を取り除き，スタッカ部を閉じる。または，電源再投入。
通信異常	ビルバリ機能停止（自販機の主制御部との交信復帰により自動復帰）。

［！］ 故障コードに関しては，各自販機のサービスマニュアルを参照ください。





	故障ランプ（黄）	動作中ランプ（緑）	通信ランプ（赤）
正　常	消灯	点灯	点滅
異　常	点灯	消灯	消灯

※ 抑止機能作動時は「動作中ランプ」が点滅します。
詳細は９ページを参照してください。

９．お願い

紙幣識別装置の流出は偽造紙幣犯罪の主要な原因となります。
機器の買換時に際しましては，ユーザー各位にて破砕等の方法により紙幣識別機能を消滅させ，廃棄して頂くようお願い申し上げます。

サービス拠点一覧

	住　　所	電話番号	ＦＡＸ番号
■東京支店	**〒108-0075 東京都港区港南2丁目13番31号 品川NSSビル8階**	**03(5479)5522**	**03(5479)5523**
●東北営業所	〒983-0025 宮城県仙台市宮城野区福田町南1-2-45-101	022(387)1245	022(387)1246
●東関東営業所	〒284-0001 千葉県四街道市大日931-3	043(424)3137	043(424)3138
●北関東営業所	〒350-2211 埼玉県鶴ヶ島市脚折町1-2-15	049(286)5770	049(286)5785
●関東ＬＣ	〒226-0025 神奈川県横浜市緑区十日市場871-8	045(985)7616	045(985)7617

■東海支店	**〒461-0011 愛知県名古屋市東区白壁3丁目12番13号 中産連ビル新館5階**	**052(979)8535**	**052(979)8536**
●静岡営業所	〒426-0034 静岡県藤枝市駅前3-13-29	054(644)8788	054(644)8774
●北陸営業所	〒921-8002 石川県金沢市玉鉾5-17	076(291)8537	076(291)9116

■大阪支店	**〒577-0013 大阪府東大阪市長田中1-3-5**	**06(6789)2216**	**06(6789)2219**
●京都営業所	〒612-8413 京都府京都市伏見区竹田三ッ杭町30-2	075(642)6766	075(642)6680
●神戸営業所	〒650-0032 兵庫県神戸市中央区伊藤町121番地 神戸伊藤町ビル2階	078(335)2910	078(335)2911

■九州支店	**〒812-0893 福岡県福岡市博多区那珂1-1-12**	**092(451)8652**	**092(475)9284**

ホームページhttp://www.pressio.co.jp
発売元　株式会社プレッシオ
製造元　株式会社プレッシオ
版数　第3版　2010年8月20日

仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがありますのでご了承下さい。